2026年　大原簿記情報医療専門学校浜松校

実務経験のある教員による授業科目一覧

1年制 キャリアアップ本科

ID	授業科目	授業形態	年次	時期	単位数	実務家	教員名	経験	授業目的	授業概要
3011	簿記論入門	講義	1	前期	1	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。	税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。
3012	簿記論A	講義	1	後期	6	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。	税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。
3013	簿記論B	講義	1	後期	5	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。	税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。
3014	簿記論C	講義	1	前期	10	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。	税理士試験簿記論合格に向けての集大成時期としての問題演習と解説。
3021	財務諸表論入門	講義	1	前期	1	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。	税理士試験財務諸表論合格を目標に会計原理、企業会計原則、作成方法等に関する規則について習得する。
3022	財務諸表論A	講義	1	後期	6	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。	税理士試験財務諸表論合格を目標に会計原理、企業会計原則、作成方法等に関する規則について習得する。
3023	財務諸表論B	講義	1	後期	5	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。	税理士試験財務諸表論合格を目標に会計原理、企業会計原則、作成方法等に関する規則について習得する。
3024	財務諸表論C	講義	1	前期	10	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。	税理士試験財務諸表論合格に向けての集大成時期としての問題演習と解説。
7011	ビジネス基礎（共通）	実習	1	前期	4	実務経験あり	西田裕香	一般企業での総務勤務経験	ビジネスマナーや社会常識の習得を通して新社会人としての意識を養成する。また、各種実務において必要となる文書作成ソフトなどのパソコン活用技能の習得を目的とする。	社会人として求められる言葉遣いや身だしなみをはじめ、接遇マナーや、あらゆる職種に共通する基本的な知識・技能を身につけ、入社に備える。
7012	ビジネスマナー基礎	実習	1	前期	1	実務経験あり	大内史彦	医療機関での医療事務実地研修経験	新社会人として求められるマナーや社会常識を実践的に学び、ビジネスマインドの定着を図る。	電話応対の実習を通して、社会人として適切な言葉遣いや対応力を身につけ、入社後の業務に備える。
7014	ビジネス応用(事務Ⅰ)	実習	1	後期	8	実務経験あり	大内史彦	医療機関での医療事務実地研修経験	新社会人に向けて、実践的なビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。	社会人、特に受付事務として必要な来客対応などの接遇マナー、内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。

7015	ビジネス応用(営業販売Ⅰ)	実習	1	後期	8	実務経験あり	西田裕香	一般企業での総務勤務経験	「コスト意識」や「費用対効果」について理解を深めるとともに、財務諸表に関する知識を身につけ、企業の安全性などを比較・分析できる力を養う。また、数字に強くなり、抽象的ではなく具体的な表現で説明できる力を身につける。	顧客視点および経営側の視点から考える体験を通して、マーケティングに必要な能力を身につける。企業の実際のデータを基に分析を行い、収益力向上のための企画をグループワークで立案する。
7017	ビジネス応用(事務Ⅱ)	実習	1	後期	3	実務経験あり	大内史彦	医療機関での医療事務実地研修経験	新社会人に向けて、実践的なビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。	社会人、特に事務職に求められる状況に応じた接遇マナー、電話応対をはじめとする内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。
7018	ビジネス応用(営業販売Ⅱ)	実習	1	後期	3	実務経験あり	西田裕香	一般企業での総務勤務経験	マーケットに対して様々な角度から情報収集を行い、グループ研究および発表のプロセスをグループワークで実践することで、コミュニケーション能力と情報分析能力の向上を目指す。	マーケティングの授業で学んだ顧客視点および経営側の視点を基に、協力企業の実店舗を対象として「売上を伸ばすための改善提案」を企画し、プレゼンテーションを行う。
7100	インターンシップ	実習	1	前期	1	実務経験あり	松永年史	会計事務所での実地研修経験	職場体験を通して職業を理解し、職業に就くための課題を見つけ今後の学生生活に役立てる。	実務家講演や職場見学・体験などの実習を通して、学習した知識や技能が実社会でどのように活かせるかを学び、自身の課題を発見し解決するきっかけを作る。
7400	企業研修Ⅰ	実習	1	後期	7	実務経験あり	早川依里	医療機関での医療事務実地研修経験	学内で学んだ専門知識・技術・接遇力を内定先企業等で使える知識・技術として向上させ、社員・職員としての基礎的なマインドを構築する。	内定先企業等における実習を行う。また、定期的に個別面談を行い、実習の進捗状況確認を行うとともに業務面や精神面における助言・指導を行う。
7401	企業研修Ⅱ	実習	1	後期	3	実務経験あり	早川依里	医療機関での医療事務実地研修経験	学内で学んだ専門知識・技術・接遇力を内定先企業等で使える知識・技術として向上させ、社員・職員としての基礎的なマインドを構築する。	内定先企業等における実習を行う。また、定期的に個別面談を行い、実習の進捗状況確認を行うとともに業務面や精神面における助言・指導を行う。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	簿記論入門	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	10	単位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 01：現金預金 02：債権債務 03：債権債務 04：商品売買 05：商品売買 06：固定資産 07：固定資産 08：引当金 09：引当金 10：引当金	回			
テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	簿記論A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	60	単位	6	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：有価証券 02：有価証券 03：税金 04：ソフトウェア 05：ソフトウェア 06：税効果会計 07：税効果会計 08：割引現在価値 09：減損会計 10：減損会計 11：リース会計 12：リース会計 13：外貨建会計 14：外貨建会計 15：資産除去債務	16：試用販売 17：試用販売 18：圧縮記帳 19：圧縮記帳 20：割賦販売 21：割賦販売 22：本支店会計 23：本支店会計 24：未着品販売 25：未着品販売 26：製造業会計 27：製造業会計 28：キャッシュ・フロー計算書 29：キャッシュ・フロー計算書 30：キャッシュ・フロー計算書

テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	簿記論A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	60	単位	6	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：組織再編会計 32：組織再編会計 33：ストック・オプション 34：ストック・オプション 35：会計上の変更等 36：会計上の変更等 37：連結会計 38：連結会計 39：連結会計 40：連結会計 41：委託販売 42：受託販売 43：建設業会計 44：建設業会計 45：収益認識会計	46：デリバティブ取引 47：金利スワップ 48：為替予約 49：為替予約 50：先物取引 51：先物取引 52：伝票会計 53：伝票会計 54：帳簿組織 55：帳簿組織 56：社債 57：社債 58：組織再編会計 59：組織再編会計 60：組織再編会計

テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	簿記論B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	50	単位	5	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：有価証券 02：有価証券 03：有価証券 04：固定資産 05：固定資産 06：固定資産 07：連結会計 08：連結会計 09：連結会計 10：連結会計 11：連結会計 12：連結会計 13：連結会計 14：連結会計 15：連結会計	16：リース会計 17：リース会計 18：リース会計 19：リース会計 20：リース会計 21：資産除去債務 22：資産除去債務 23：資産除去債務 24：資産除去債務 25：資産除去債務 26：組織再編会計 27：組織再編会計 28：組織再編会計 29：組織再編会計 30：組織再編会計

テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	簿記論B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	50	単位	5	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格を目標に複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織等について習得する。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容		
	回	回
	31：分配可能額 32：分配可能額 33：分配可能額 34：帳簿組織 35：帳簿組織 36：帳簿組織 37：外貨建会計 38：外貨建会計 39：在外支店 40：在外支店 41：在外支店 42：在外子会社 43：在外子会社 44：在外子会社 45：在外子会社	46：ゴルフ会員権 47：ゴルフ会員権 48：純資産会計 49：純資産会計 50：純資産会計

テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	簿記論C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格に向けての集大成時期としての問題演習と解説。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：実力判定公開模擬試験 02：実力判定公開模擬試験 03：実力判定公開模擬試験 04：実力判定公開模擬試験 05：実力判定公開模擬試験 06：実力判定公開模擬試験 07：実力判定公開模擬試験 08：実力判定公開模擬試験 09：実力判定公開模擬試験 10：実力判定公開模擬試験 11：実力判定公開模擬試験 12：実力判定公開模擬試験 13：実力判定公開模擬試験 14：実力判定公開模擬試験 15：実力判定公開模擬試験	16：過去問題演習 17：過去問題演習 18：過去問題演習 19：過去問題演習 20：過去問題演習 21：過去問題演習 22：過去問題演習 23：過去問題演習 24：過去問題演習 25：過去問題演習 26：過去問題演習 27：過去問題演習 28：過去問題演習 29：過去問題演習 30：過去問題演習

テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	簿記論C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格に向けての集大成時期としての問題演習と解説。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：直前対策模擬試験 32：直前対策模擬試験 33：直前対策模擬試験 34：直前対策模擬試験 35：直前対策模擬試験 36：直前対策模擬試験 37：直前対策模擬試験 38：直前対策模擬試験 39：直前対策模擬試験 40：直前対策模擬試験 41：直前対策模擬試験 42：直前対策模擬試験 43：直前対策模擬試験 44：直前対策模擬試験 45：直前対策模擬試験	46：プレ模擬試験 47：プレ模擬試験 48：プレ模擬試験 49：プレ模擬試験 50：プレ模擬試験 51：プレ模擬試験 52：プレ模擬試験 53：プレ模擬試験 54：プレ模擬試験 55：プレ模擬試験 56：プレ模擬試験 57：プレ模擬試験 58：プレ模擬試験 59：プレ模擬試験 60：プレ模擬試験

テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	簿記論C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格に向けての集大成時期としての問題演習と解説。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	61：全国統一公開模擬試験 62：全国統一公開模擬試験 63：全国統一公開模擬試験 64：全国統一公開模擬試験 65：全国統一公開模擬試験 66：全国統一公開模擬試験 67：全国統一公開模擬試験 68：全国統一公開模擬試験 69：全国統一公開模擬試験 70：全国統一公開模擬試験 71：全国統一公開模擬試験 72：全国統一公開模擬試験 73：全国統一公開模擬試験 74：全国統一公開模擬試験 75：全国統一公開模擬試験	76：直前予想公開模擬試験 77：直前予想公開模擬試験 78：直前予想公開模擬試験 79：直前予想公開模擬試験 80：直前予想公開模擬試験 81：直前予想公開模擬試験 82：直前予想公開模擬試験 83：直前予想公開模擬試験 84：直前予想公開模擬試験 85：直前予想公開模擬試験 86：直前予想公開模擬試験 87：直前予想公開模擬試験 88：直前予想公開模擬試験 89：直前予想公開模擬試験 90：直前予想公開模擬試験

テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	簿記論C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 企業の取引をどのように会計帳簿に記録するかを学習する。 【概要】 税理士試験簿記論合格に向けての集大成時期としての問題演習と解説。				
到達目標	税理士試験の簿記論に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 91：総復習 92：総復習 93：総復習 94：総復習 95：総復習 96：総復習 97：総復習 98：総復習 99：総復習 100：総復習	回			
テキスト 参考文献	大原学園「簿記論」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	財務諸表論入門	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	10	単位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。 【概要】 税理士試験財務諸表論合格を目標に会計原理、企業会計原則、作成方法等に関する規則について習得する。				
到達目標	税理士試験の財務諸表論に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 01：損益計算書 02：現金預金 03：債権債務 04：個別注記表 05：見越・繰延 06：棚卸資産 07：手形割引 08：財務諸表の基礎概念 09：売上・仕入割引 10：売上・仕入割引	回			
テキスト 参考文献	大原学園「財務諸表論」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	財務諸表論A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	60	単位	6	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。 【概要】 税理士試験財務諸表論合格を目標に会計原理、企業会計原則、作成方法等に関する規則について習得する。				
到達目標	税理士試験の財務諸表論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：貸倒損失 02：関係会社概念 03：企業会計原則 04：退職給付会計 05：株主資本 06：社債 07：有価証券 08：割引現在価値 09：資産除去債務 10：外貨建会計 11：損益計算書の本質と構造 12：現金主義会計と発生主義会計 13：確認テスト 14：当座借越 15：ソフトウェア	16：金銭債権債務 17：期間損益計算 18：費用収益対応の原則 19：資本循環と財務諸表 20：尊敬計算書総論 21：収益認識 22：静態論と動態論 23：貸借対照表の表示 24：固定資産の減損会計 25：固定資産の減損会計 26：貸借対照表の表示原則 27：貸借対照表の表示原則 28：貸借対照表の本質 29：貸借対照表の本質 30：貸借対照表の本質

テキスト 参考文献	大原学園「財務諸表論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	財務諸表論A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	60	単位	6	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。 【概要】 税理士試験財務諸表論合格を目標に会計原理、企業会計原則、作成方法等に関する規則について習得する。				
到達目標	税理士試験の財務諸表論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：償却原価法 32：償却原価法 33：繰延資産 34：リース会計 35：投資信託 36：ゴルフ会員権 37：概念フレームワーク 38：資産評価 39：退職給付会計 40：退職給付会計 41：工事契約 42：工事契約 43：製造業会計 44：製造業会計 45：金融資産	46：繰延資産 47：金融商品 48：外貨建会計 49：デリバティブ取引 50：ヘッジ会計 51：新株予約権 52：退職給付会計 53：研究開発費 54：売価還元法 55：組織再編会計 56：資産除去債務 57：分配可能額 58：キャッシュ・フロー計算書 59：純資産会計 60：純資産会計

テキスト 参考文献	大原学園「財務諸表論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	財務諸表論B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	50	単位	5	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。 【概要】 税理士試験財務諸表論合格を目標に会計原理、企業会計原則、作成方法等に関する規則について習得する。				
到達目標	税理士試験の財務諸表論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：株主資本等会計 02：株主資本等会計 03：会計上の変更等 04：会計上の変更等 05：キャッシュ・フロー計算書 06：キャッシュ・フロー計算書 07：企業結合会計 08：企業結合会計 09：企業結合会計 10：企業結合会計 11：連結会計 12：連結会計 13：連結会計 14：連結会計 15：連結会計	16：事業分離会計 17：事業分離会計 18：事業分離会計 19：包括利益 20：包括利益 21：包括利益 22：四半期財務諸表 23：四半期財務諸表 24：四半期財務諸表 25：新株予約権 26：新株予約権 27：新株予約権 28：新株予約権付社債 29：新株予約権付社債 30：新株予約権付社債

テキスト 参考文献	大原学園「財務諸表論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	財務諸表論B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	50	単位	5	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。 【概要】 税理士試験財務諸表論合格を目標に会計原理、企業会計原則、作成方法等に関する規則について習得する。				
到達目標	税理士試験の財務諸表論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：ストック・オプション 32：ストック・オプション 33：税効果会計 34：税効果会計 35：税効果会計 36：財務諸表等規則 37：財務諸表等規則 38：資産除去債務に係る税効果会計 39：資産除去債務に係る税効果会計 40：株式交換 41：株式交換 42：子会社を吸収合併 43：子会社を吸収合併 44：連結会計 45：連結会計	46：理論演習問題 47：理論演習問題 48：理論演習問題 49：理論演習問題 50：理論演習問題

テキスト 参考文献	大原学園「財務諸表論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	財務諸表論C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。 【概要】 税理士試験財務諸表論合格に向けての集大成時期としての問題演習と解説。				
到達目標	税理士試験の財務諸表論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	
回	回
01：組織再編会計	16：連結会計
02：組織再編会計	17：連結会計
03：組織再編会計	18：連結会計
04：組織再編会計	19：連結会計
05：組織再編会計	20：連結会計
06：リース会計	21：実力判定公開模擬試験
07：リース会計	22：実力判定公開模擬試験
08：リース会計	23：実力判定公開模擬試験
09：リース会計	24：実力判定公開模擬試験
10：リース会計	25：実力判定公開模擬試験
11：分配可能額	26：実力判定公開模擬試験
12：分配可能額	27：実力判定公開模擬試験
13：連結会計	28：実力判定公開模擬試験
14：連結会計	29：実力判定公開模擬試験
15：連結会計	30：実力判定公開模擬試験

テキスト 参考文献	大原学園「財務諸表論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	財務諸表論C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。 【概要】 税理士試験財務諸表論合格に向けての集大成時期としての問題演習と解説。				
到達目標	税理士試験の財務諸表論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：実力判定公開模擬試験 32：実力判定公開模擬試験 33：過去問題演習 34：過去問題演習 35：過去問題演習 36：過去問題演習 37：過去問題演習 38：過去問題演習 39：過去問題演習 40：過去問題演習 41：過去問題演習 42：過去問題演習 43：過去問題演習 44：過去問題演習 45：過去問題演習	46：過去問題演習 47：過去問題演習 48：過去問題演習 49：過去問題演習 50：過去問題演習 51：直前対策模擬試験 52：直前対策模擬試験 53：直前対策模擬試験 54：直前対策模擬試験 55：直前対策模擬試験 56：直前対策模擬試験 57：直前対策模擬試験 58：直前対策模擬試験 59：直前対策模擬試験 60：直前対策模擬試験

テキスト 参考文献	大原学園「財務諸表論」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	財務諸表論C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。 【概要】 税理士試験財務諸表論合格に向けての集大成時期としての問題演習と解説。				
到達目標	税理士試験の財務諸表論に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	61：直前対策模擬試験 62：直前対策模擬試験 63：直前対策模擬試験 64：プレ模擬試験 65：プレ模擬試験 66：プレ模擬試験 67：プレ模擬試験 68：全国統一公開模擬試験 69：全国統一公開模擬試験 70：全国統一公開模擬試験 71：全国統一公開模擬試験 72：全国統一公開模擬試験 73：全国統一公開模擬試験 74：全国統一公開模擬試験 75：全国統一公開模擬試験	76：全国統一公開模擬試験 77：全国統一公開模擬試験 78：直前予想公開模擬試験 79：直前予想公開模擬試験 80：直前予想公開模擬試験 81：直前予想公開模擬試験 82：直前予想公開模擬試験 83：直前予想公開模擬試験 84：直前予想公開模擬試験 85：直前予想公開模擬試験 86：直前予想公開模擬試験 87：直前予想公開模擬試験 88：直前予想公開模擬試験 89：直前予想公開模擬試験 90：直前予想公開模擬試験
テキスト 参考文献	大原学園「財務諸表論」	
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。	
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること	

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	財務諸表論C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 株主等の利害関係者へ報告するための書類である財務諸表の作成に必要な考え方及び作成方法を学習する。 【概要】 税理士試験財務諸表論合格に向けての集大成時期としての問題演習と解説。				
到達目標	税理士試験の財務諸表論に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 91：総復習 92：総復習 93：総復習 94：総復習 95：総復習 96：総復習 97：総復習 98：総復習 99：総復習 100：総復習	回			
テキスト 参考文献	大原学園「財務諸表論」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深めるとともに課題を見つけること				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	消費税法入門	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	榊原義久
授業回数	10	単位	1	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 消費税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、消費税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 消費税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	個人･法人問わず、１事業者の１課税期間の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の消費税法に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 01：消費税法の概要 02：消費税法の概要 03：課税の対象（基礎） 04：課税の対象（基礎） 05：非課税 06：非課税 07：輸出免税資産の譲渡等の時期 08：輸出免税資産の譲渡等の時期 09：輸出免税資産の譲渡等の時期 10：輸出免税資産の譲渡等の時期	回			
テキスト 参考文献	大原学園「消費税法」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	消費税法A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	榊原義久
授業回数	40	単位	4	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 消費税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、消費税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 消費税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	個人･法人問わず、１事業者の１課税期間の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の消費税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：控除対象仕入税額 02：控除対象仕入税額 03：控除対象仕入税額 04：控除対象仕入税額 05：控除対象仕入税額 06：控除対象仕入税額 07：売上に係る対価の返還 08：売上に係る対価の返還 09：貸倒れが生じた場合 10：貸倒れが生じた場合 11：課税仕入等の時期 12：課税仕入等の時期 13：課税売上割合 14：課税売上割合 15：課税売上割合	16：課税期間における課税売上高 17：課税期間における課税売上高 18：控除対象仕入税額 19：控除対象仕入税額 20：控除対象仕入税額 21：控除対象仕入税額 22：課税売上割合に準ずる割合 23：課税売上割合に準ずる割合 24：確認テスト 25：仕入に係る対価の返還等 26：仕入に係る対価の返還等 27：納税義務の免除 28：納税義務の免除 29：国境を越えた役務の提供 30：国境を越えた役務の提供

テキスト 参考文献	大原学園「消費税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	消費税法A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	榊原義久
授業回数	40	単位	4	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 消費税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、消費税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 消費税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	個人･法人問わず、１事業者の１課税期間の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の消費税法に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 31：中間申告に係る納付税額の計算 32：中間申告に係る納付税額の計算 33：課税仕入等の分類 34：課税仕入等の分類 35：非課税資産の輸出等 36：非課税資産の輸出等 37：調整対象固定資産に係る仕入税額 38：調整対象固定資産に係る仕入税額 39：調整対象固定資産に係る仕入税額 40：調整対象固定資産に係る仕入税額	回			
テキスト 参考文献	大原学園「消費税法」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	消費税法B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	榊原義久
授業回数	40	単位	4	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 消費税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、消費税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 消費税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	個人･法人問わず、１事業者の１課税期間の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の消費税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：特定期間における課税売上高 02：特定期間における課税売上高 03：相続・合併があった場合の免除特例 04：相続・合併があった場合の免除特例 05：相続・合併があった場合の免除特例 06：相続・合併があった場合の免除特例 07：相続・合併があった場合の免除特例 08：課税標準 09：課税標準 10：課税標準 11：確認テスト 12：会社分割があった場合の免除特例 13：会社分割があった場合の免除特例 14：会社分割があった場合の免除特例 15：会社分割があった場合の免除特例	16：会社分割があった場合の免除特例 17：新設法人の納税義務の免除 18：新設法人の納税義務の免除 19：新設法人の納税義務の免除 20：特定新規設立法人の納税義務の免除 21：特定新規設立法人の納税義務の免除 22：特定新規設立法人の納税義務の免除 23：特定新規設立法人の納税義務の免除 24：特定新規設立法人の納税義務の免除 25：合併があった場合の中間申告納付税額 26：合併があった場合の中間申告納付税額 27：合併があった場合の中間申告納付税額 28：棚卸資産に係る消費税額の調整 29：棚卸資産に係る消費税額の調整 30：棚卸資産に係る消費税額の調整

テキスト 参考文献	大原学園「消費税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	消費税法B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	榊原義久
授業回数	40	単位	4	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 消費税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、消費税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 消費税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	個人･法人問わず、１事業者の１課税期間の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の消費税法に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 31：簡易課税制度 32：簡易課税制度 33：高額特定資産を取得した場合の特例 34：高額特定資産を取得した場合の特例 35：資産の譲渡等の時期 36：リース取引 37：国等に対する特例経過措置 38：国等に対する特例経過措置 39：調整対象固定資産に係る仕入税額 40：調整対象固定資産に係る仕入税額	回			
テキスト 参考文献	大原学園「消費税法」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	消費税法C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	榊原義久
授業回数	100	単位	10	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 消費税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、消費税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 消費税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	個人･法人問わず、１事業者の１課税期間の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の消費税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：実力判定公開模擬試験 02：実力判定公開模擬試験 03：実力判定公開模擬試験 04：実力判定公開模擬試験 05：実力判定公開模擬試験 06：実力判定公開模擬試験 07：実力判定公開模擬試験 08：実力判定公開模擬試験 09：実力判定公開模擬試験 10：実力判定公開模擬試験 11：実力判定公開模擬試験 12：実力判定公開模擬試験 13：実力判定公開模擬試験 14：実力判定公開模擬試験 15：実力判定公開模擬試験	16：過去問題演習 17：過去問題演習 18：過去問題演習 19：過去問題演習 20：過去問題演習 21：過去問題演習 22：過去問題演習 23：過去問題演習 24：過去問題演習 25：過去問題演習 26：過去問題演習 27：過去問題演習 28：過去問題演習 29：過去問題演習 30：過去問題演習

テキスト 参考文献	大原学園「消費税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	消費税法C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	榊原義久
授業回数	100	単位	10	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 消費税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、消費税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 消費税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	個人･法人問わず、１事業者の１課税期間の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の消費税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：直前対策模擬試験 32：直前対策模擬試験 33：直前対策模擬試験 34：直前対策模擬試験 35：直前対策模擬試験 36：直前対策模擬試験 37：直前対策模擬試験 38：直前対策模擬試験 39：直前対策模擬試験 40：直前対策模擬試験 41：直前対策模擬試験 42：直前対策模擬試験 43：直前対策模擬試験 44：直前対策模擬試験 45：直前対策模擬試験	46：プレ模擬試験 47：プレ模擬試験 48：プレ模擬試験 49：プレ模擬試験 50：プレ模擬試験 51：プレ模擬試験 52：プレ模擬試験 53：プレ模擬試験 54：プレ模擬試験 55：プレ模擬試験 56：プレ模擬試験 57：プレ模擬試験 58：プレ模擬試験 59：プレ模擬試験 60：プレ模擬試験

テキスト 参考文献	大原学園「消費税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	消費税法C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	榊原義久
授業回数	100	単位	10	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 消費税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、消費税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 消費税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	個人･法人問わず、１事業者の１課税期間の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の消費税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	61：全国統一公開模擬試験 62：全国統一公開模擬試験 63：全国統一公開模擬試験 64：全国統一公開模擬試験 65：全国統一公開模擬試験 66：全国統一公開模擬試験 67：全国統一公開模擬試験 68：全国統一公開模擬試験 69：全国統一公開模擬試験 70：全国統一公開模擬試験 71：全国統一公開模擬試験 72：全国統一公開模擬試験 73：全国統一公開模擬試験 74：全国統一公開模擬試験 75：全国統一公開模擬試験	76：直前予想公開模擬試験 77：直前予想公開模擬試験 78：直前予想公開模擬試験 79：直前予想公開模擬試験 80：直前予想公開模擬試験 81：直前予想公開模擬試験 82：直前予想公開模擬試験 83：直前予想公開模擬試験 84：直前予想公開模擬試験 85：直前予想公開模擬試験 86：直前予想公開模擬試験 87：直前予想公開模擬試験 88：直前予想公開模擬試験 89：直前予想公開模擬試験 90：直前予想公開模擬試験
テキスト 参考文献	大原学園「消費税法」	
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。	
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。	

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	消費税法C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	榊原義久
授業回数	100	単位	10	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 消費税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、消費税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 消費税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	個人･法人問わず、１事業者の１課税期間の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の消費税法に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 91：総復習 92：総復習 93：総復習 94：総復習 95：総復習 96：総復習 97：総復習 98：総復習 99：総復習 100：総復習	回			
テキスト 参考文献	大原学園「消費税法」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	法人税法入門	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	山下翔
授業回数	20	単位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、法人税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 法人税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	１事業者の１事業年度の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の法人税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	
回 01：納税義務者 02：納税義務者 03：納税義務者 04：会社計算と税務計算 05：会社計算と税務計算 06：会社計算と税務計算 07：会社計算と税務計算 08：受取配当金の益金不算入額 09：受取配当金の益金不算入額 10：受取配当金の益金不算入額 11：受取配当金の益金不算入額 12：受取配当金の益金不算入額 13：交際費等の損金不算入額 14：交際費等の損金不算入額 15：交際費等の損金不算入額	回 16：減価償却 17：減価償却 18：減価償却 19：減価償却 20：減価償却

テキスト 参考文献	大原学園「法人税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	法人税法A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	山下翔
授業回数	80	単位	8	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、法人税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 法人税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	１事業者の１事業年度の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の法人税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	
回	回
01：寄附金の損金不算入額	16：別表一（一）の作成
02：寄附金の損金不算入額	17：特別控除
03：寄附金の損金不算入額	18：特別控除
04：租税公課及び納税充当金	19：特別控除
05：租税公課及び納税充当金	20：確認テスト
06：租税公課及び納税充当金	21：欠損金
07：租税公課及び納税充当金	22：欠損金
08：特別償却	23：欠損金
09：特別償却	24：欠損金
10：特別償却	25：欠損金
11：特別償却	26：欠損金
12：別表一（一）の作成	27：外貨建取引
13：別表一（一）の作成	28：外貨建取引
14：別表一（一）の作成	29：外貨建取引
15：別表一（一）の作成	30：外貨建取引

テキスト 参考文献	大原学園「法人税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	法人税法A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	山下翔
授業回数	80	単位	8	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、法人税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 法人税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	１事業者の１事業年度の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の法人税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：外貨建取引 32：特別償却準備金 33：特別償却準備金 34：特別償却準備金 35：有価証券 36：有価証券 37：有価証券 38：有価証券 39：有価証券 40：有価証券 41：有価証券 42：みなし配当 43：みなし配当 44：みなし配当 45：みなし配当	46：みなし配当 47：貸倒引当金 48：貸倒引当金 49：貸倒引当金 50：貸倒引当金 51：貸倒引当金 52：貸倒引当金 53：圧縮記帳 54：圧縮記帳 55：圧縮記帳 56：圧縮記帳 57：圧縮記帳 58：役員報酬 59：役員報酬 60：役員報酬

テキスト 参考文献	大原学園「法人税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	法人税法A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	山下翔
授業回数	80	単位	8	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、法人税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 法人税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	１事業者の１事業年度の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の法人税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	61：役員報酬 62：役員報酬 63：役員報酬 64：外国税額控除 65：外国税額控除 66：外国税額控除 67：外国税額控除 68：外国税額控除 69：外国税額控除 70：外国税額控除 71：外国税額控除 72：外国税額控除 73：外国税額控除 74：外国税額控除 75：外国税額控除	76：外国子会社からの配当金の益金不算入額 77：外国子会社からの配当金の益金不算入額 78：外国子会社からの配当金の益金不算入額 79：外国子会社からの配当金の益金不算入額 80：外国子会社からの配当金の益金不算入額

テキスト 参考文献	大原学園「法人税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	法人税法B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	山下翔
授業回数	70	単位	7	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、法人税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 法人税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	１事業者の１事業年度の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の法人税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：減価償却 02：減価償却 03：減価償却 04：減価償却 05：減価償却 06：減価償却 07：資本等取引 08：資本等取引 09：資本等取引 10：資本等取引 11：資本等取引 12：資本等取引 13：資本等取引 14：資本等取引 15：資本等取引	16：グループ法人税制 17：グループ法人税制 18：グループ法人税制 19：グループ法人税制 20：グループ法人税制 21：グループ法人税制 22：グループ法人税制 23：グループ法人税制 24：設立事業年度 25：設立事業年度 26：設立事業年度 27：設立事業年度 28：設立事業年度 29：設立事業年度 30：設立事業年度

テキスト 参考文献	大原学園「法人税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	法人税法B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	山下翔
授業回数	70	単位	7	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、法人税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 法人税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	１事業者の１事業年度の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の法人税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：組織再編税制 32：組織再編税制 33：組織再編税制 34：組織再編税制 35：組織再編税制 36：組織再編税制 37：組織再編税制 38：組織再編税制 39：組織再編税制 40：組織再編税制 41：連結納税制度 42：連結納税制度 43：連結納税制度 44：連結納税制度 45：連結納税制度	46：連結納税制度 47：連結納税制度 48：連結納税制度 49：連結納税制度 50：連結納税制度 51：解散税制 52：解散税制 53：解散税制 54：解散税制 55：解散税制 56：解散税制 57：解散税制 58：解散税制 59：解散税制 60：解散税制

テキスト 参考文献	大原学園「法人税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	法人税法B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	山下翔
授業回数	70	単位	7	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、法人税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 法人税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	１事業者の１事業年度の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の法人税法に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 61：理論・計算演習 62：理論・計算演習 63：理論・計算演習 64：理論・計算演習 65：理論・計算演習 66：改正税法 67：改正税法 68：改正税法 69：応用演習 70：応用演習	回			
テキスト 参考文献	大原学園「法人税法」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	法人税法C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	山下翔
授業回数	120	単位	12	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、法人税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 法人税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	１事業者の１事業年度の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の法人税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：実力判定公開模擬試験 02：実力判定公開模擬試験 03：実力判定公開模擬試験 04：実力判定公開模擬試験 05：実力判定公開模擬試験 06：実力判定公開模擬試験 07：実力判定公開模擬試験 08：実力判定公開模擬試験 09：実力判定公開模擬試験 10：実力判定公開模擬試験 11：実力判定公開模擬試験 12：実力判定公開模擬試験 13：実力判定公開模擬試験 14：実力判定公開模擬試験 15：実力判定公開模擬試験	16：過去問題演習 17：過去問題演習 18：過去問題演習 19：過去問題演習 20：過去問題演習 21：過去問題演習 22：過去問題演習 23：過去問題演習 24：過去問題演習 25：過去問題演習 26：過去問題演習 27：過去問題演習 28：過去問題演習 29：過去問題演習 30：過去問題演習

テキスト 参考文献	大原学園「法人税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	法人税法C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	山下翔
授業回数	120	単位	12	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、法人税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 法人税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	１事業者の１事業年度の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の法人税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：直前対策模擬試験 32：直前対策模擬試験 33：直前対策模擬試験 34：直前対策模擬試験 35：直前対策模擬試験 36：直前対策模擬試験 37：直前対策模擬試験 38：直前対策模擬試験 39：直前対策模擬試験 40：直前対策模擬試験 41：直前対策模擬試験 42：直前対策模擬試験 43：直前対策模擬試験 44：直前対策模擬試験 45：直前対策模擬試験	46：プレ模擬試験 47：プレ模擬試験 48：プレ模擬試験 49：プレ模擬試験 50：プレ模擬試験 51：プレ模擬試験 52：プレ模擬試験 53：プレ模擬試験 54：プレ模擬試験 55：プレ模擬試験 56：プレ模擬試験 57：プレ模擬試験 58：プレ模擬試験 59：プレ模擬試験 60：プレ模擬試験

テキスト 参考文献	大原学園「法人税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	法人税法C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	山下翔
授業回数	120	単位	12	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、法人税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 法人税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	１事業者の１事業年度の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の法人税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	61：全国統一公開模擬試験 62：全国統一公開模擬試験 63：全国統一公開模擬試験 64：全国統一公開模擬試験 65：全国統一公開模擬試験 66：全国統一公開模擬試験 67：全国統一公開模擬試験 68：全国統一公開模擬試験 69：全国統一公開模擬試験 70：全国統一公開模擬試験 71：全国統一公開模擬試験 72：全国統一公開模擬試験 73：全国統一公開模擬試験 74：全国統一公開模擬試験 75：全国統一公開模擬試験	76：直前予想公開模擬試験 77：直前予想公開模擬試験 78：直前予想公開模擬試験 79：直前予想公開模擬試験 80：直前予想公開模擬試験 81：直前予想公開模擬試験 82：直前予想公開模擬試験 83：直前予想公開模擬試験 84：直前予想公開模擬試験 85：直前予想公開模擬試験 86：直前予想公開模擬試験 87：直前予想公開模擬試験 88：直前予想公開模擬試験 89：直前予想公開模擬試験 90：直前予想公開模擬試験
テキスト 参考文献	大原学園「法人税法」	
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。	
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。	

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	法人税法C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	山下翔
授業回数	120	単位	12	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、法人税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 法人税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	１事業者の１事業年度の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の法人税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	91：総復習 92：総復習 93：総復習 94：総復習 95：総復習 96：総復習 97：総復習 98：総復習 99：総復習 100：総復習 101：総復習 102：総復習 103：総復習 104：総復習 105：総復習	106：総復習 107：総復習 108：総復習 109：総復習 110：総復習 111：総復習 112：総復習 113：総復習 114：総復習 115：総復習 116：総復習 117：総復習 118：総復習 119：総復習 120：総復習

テキスト 参考文献	大原学園「法人税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	相続税法入門	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	澤朋仁
授業回数	20	単位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 相続税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、相続税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 相続税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	被相続人にかかわるすべての相続人の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の相続税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：相続税の概要 02：相続税の概要 03：相続税の申告 04：相続税の申告 05：相続税の申告 06：相続税と民法 07：相続税と民法 08：相続税と民法 09：相続税の納税義務者 10：相続税の納税義務者 11：相続税の納税義務者 12：課税財産と非課税財産 13：課税財産と非課税財産 14：課税財産と非課税財産 15：課税財産と非課税財産	16：生命保険金等 17：生命保険金等 18：生命保険金等 19：生命保険金等 20：生命保険金等

テキスト 参考文献	大原学園「相続税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	相続税法A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	澤朋仁
授業回数	80	単位	8	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 相続税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、相続税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 相続税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	被相続人にかかわるすべての相続人の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の相続税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：生命保険金等 02：生命保険金等 03：生命保険金等 04：生命保険金等 05：生命保険金等 06：退職手当金等 07：退職手当金等 08：退職手当金等 09：退職手当金等 10：退職手当金等 11：債務控除 12：債務控除 13：債務控除 14：債務控除 15：債務控除	16：減価償却 17：減価償却 18：減価償却 19：減価償却 20：減価償却 21：生前贈与財産の加算 22：生前贈与財産の加算 23：生前贈与財産の加算 24：生前贈与財産の加算 25：生前贈与財産の加算 26：相続税の計算 27：相続税の計算 28：相続税の計算 29：相続税の計算 30：相続税の計算

テキスト 参考文献	大原学園「相続税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	相続税法A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	澤朋仁
授業回数	80	単位	8	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 相続税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、相続税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 相続税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	被相続人にかかわるすべての相続人の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の相続税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：財産評価の原則 32：財産評価の原則 33：財産評価の原則 34：財産評価の原則 35：財産評価の原則 36：宅地及び権利の評価 37：宅地及び権利の評価 38：宅地及び権利の評価 39：宅地及び権利の評価 40：宅地及び権利の評価 41：家屋及び権利の評価 42：家屋及び権利の評価 43：家屋及び権利の評価 44：家屋及び権利の評価 45：家屋及び権利の評価	46：一般動産の評価 47：一般動産の評価 48：一般動産の評価 49：一般動産の評価 50：一般動産の評価 51：一般動産の評価 52：棚卸商品等の評価 53：棚卸商品等の評価 54：棚卸商品等の評価 55：棚卸商品等の評価 56：棚卸商品等の評価 57：相続税の総額と加算の制度 58：相続税の総額と加算の制度 59：相続税の総額と加算の制度 60：相続税の総額と加算の制度

テキスト 参考文献	大原学園「相続税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	相続税法A	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	澤朋仁
授業回数	80	単位	8	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 相続税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、相続税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 相続税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	被相続人にかかわるすべての相続人の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の相続税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	61：贈与税額控除 62：贈与税額控除 63：贈与税額控除 64：贈与税額控除 65：贈与税額控除 66：配偶者税額軽減額 67：配偶者税額軽減額 68：配偶者税額軽減額 69：配偶者税額軽減額 70：配偶者税額軽減額 71：未成年者控除額 72：未成年者控除額 73：未成年者控除額 74：未成年者控除額 75：未成年者控除額	76：障害者控除 77：障害者控除 78：障害者控除 79：障害者控除 80：障害者控除

テキスト 参考文献	大原学園「相続税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	相続税法B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	澤朋仁
授業回数	70	単位	7	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 相続税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、相続税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 相続税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	被相続人にかかわるすべての相続人の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の相続税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：相続税精算課税制度 02：相続税精算課税制度 03：相続税精算課税制度 04：相続税精算課税制度 05：相続税精算課税制度 06：贈与税の非課税財産 07：贈与税の非課税財産 08：贈与税の非課税財産 09：贈与税の非課税財産 10：贈与税の非課税財産 11：相続税・贈与税の申告と納付 12：相続税・贈与税の申告と納付 13：相続税・贈与税の申告と納付 14：相続税・贈与税の申告と納付 15：相続税・贈与税の申告と納付	16：農地の評価 17：農地の評価 18：農地の評価 19：農地の評価 20：農地の評価 21：山林の評価 22：山林の評価 23：山林の評価 24：山林の評価 25：山林の評価 26：立木の評価と評価減 27：立木の評価と評価減 28：立木の評価と評価減 29：立木の評価と評価減 30：立木の評価と評価減

テキスト 参考文献	大原学園「相続税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	相続税法B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	澤朋仁
授業回数	70	単位	7	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 相続税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、相続税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 相続税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	被相続人にかかわるすべての相続人の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の相続税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：構築物の評価 32：構築物の評価 33：構築物の評価 34：構築物の評価 35：構築物の評価 36：確認テスト 37：相次相続控除額 38：相次相続控除額 39：相次相続控除額 40：相次相続控除額 41：相次相続控除額 42：相続税の外国税額控除額 43：相続税の外国税額控除額 44：相続税の外国税額控除額 45：相続税の外国税額控除額	46：相続税の外国税額控除額 47：贈与税額控除額 48：贈与税額控除額 49：贈与税額控除額 50：贈与税額控除額 51：贈与税額控除額 52：贈与税の配偶者控除 53：贈与税の配偶者控除 54：贈与税の配偶者控除 55：贈与税の配偶者控除 56：贈与税の配偶者控除 57：直系尊属から教育資金の一括贈与 58：直系尊属から教育資金の一括贈与 59：直系尊属から教育資金の一括贈与 60：直系尊属から教育資金の一括贈与

テキスト 参考文献	大原学園「相続税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	相続税法B	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	澤朋仁
授業回数	70	単位	7	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 相続税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、相続税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 相続税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	被相続人にかかわるすべての相続人の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の相続税法に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 61：住宅取得資金の贈与 62：住宅取得資金の贈与 63：贈与税の外国税額控除 64：贈与税の外国税額控除 65：納税猶予制度 66：納税猶予制度 67：延納・物納制度 68：延納・物納制度 69：受益証券等の評価 70：受益証券等の評価	回			
テキスト 参考文献	大原学園「相続税法」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	相続税法C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	澤朋仁
授業回数	100	単位	10	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 相続税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、相続税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 相続税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	被相続人にかかわるすべての相続人の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の相続税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	01：実力判定公開模擬試験 02：実力判定公開模擬試験 03：実力判定公開模擬試験 04：実力判定公開模擬試験 05：実力判定公開模擬試験 06：実力判定公開模擬試験 07：実力判定公開模擬試験 08：実力判定公開模擬試験 09：実力判定公開模擬試験 10：実力判定公開模擬試験 11：実力判定公開模擬試験 12：実力判定公開模擬試験 13：実力判定公開模擬試験 14：実力判定公開模擬試験 15：実力判定公開模擬試験	16：過去問題演習 17：過去問題演習 18：過去問題演習 19：過去問題演習 20：過去問題演習 21：過去問題演習 22：過去問題演習 23：過去問題演習 24：過去問題演習 25：過去問題演習 26：過去問題演習 27：過去問題演習 28：過去問題演習 29：過去問題演習 30：過去問題演習

テキスト 参考文献	大原学園「相続税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	相続税法C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	澤朋仁
授業回数	100	単位	10	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 相続税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、相続税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 相続税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	被相続人にかかわるすべての相続人の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の相続税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	31：直前対策模擬試験 32：直前対策模擬試験 33：直前対策模擬試験 34：直前対策模擬試験 35：直前対策模擬試験 36：直前対策模擬試験 37：直前対策模擬試験 38：直前対策模擬試験 39：直前対策模擬試験 40：直前対策模擬試験 41：直前対策模擬試験 42：プレ模擬試験 43：プレ模擬試験 44：プレ模擬試験 45：プレ模擬試験	46：全国統一公開模擬試験 47：全国統一公開模擬試験 48：全国統一公開模擬試験 49：全国統一公開模擬試験 50：全国統一公開模擬試験 51：全国統一公開模擬試験 52：全国統一公開模擬試験 53：全国統一公開模擬試験 54：全国統一公開模擬試験 55：全国統一公開模擬試験 56：全国統一公開模擬試験 57：全国統一公開模擬試験 58：全国統一公開模擬試験 59：全国統一公開模擬試験 60：全国統一公開模擬試験

テキスト 参考文献	大原学園「相続税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	相続税法C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	澤朋仁
授業回数	100	単位	10	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 相続税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、相続税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 相続税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	被相続人にかかわるすべての相続人の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の相続税法に合格する能力の習得を目指す。				

授業内容	回	回
	61：直前予想公開模擬試験 62：直前予想公開模擬試験 63：直前予想公開模擬試験 64：直前予想公開模擬試験 65：直前予想公開模擬試験 66：直前予想公開模擬試験 67：直前予想公開模擬試験 68：直前予想公開模擬試験 69：直前予想公開模擬試験 70：直前予想公開模擬試験 71：直前予想公開模擬試験 72：直前予想公開模擬試験 73：直前予想公開模擬試験 74：直前予想公開模擬試験 75：直前予想公開模擬試験	76：総復習 77：総復習 78：総復習 79：総復習 80：総復習 81：総復習 82：総復習 83：総復習 84：総復習 85：総復習 86：総復習 87：総復習 88：総復習 89：総復習 90：総復習

テキスト 参考文献	大原学園「相続税法」
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	相続税法C	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	澤朋仁
授業回数	100	単位	10	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 相続税法における制度趣旨や租税体系の全体を把握し、実務において、相続税法の計算が一通りできるようになるために、基礎的な内容だけでなく応用的な内容を習得する。 【概要】 相続税法の法令に関する事項のほか、租税特別措置法など関連する他の法令の関係事項について習得する。				
到達目標	被相続人にかかわるすべての相続人の納付税額を最後まで自分で計算する方法を理解している。 国家試験である税理士試験の相続税法に合格する能力の習得を目指す。				
授業内容	回 91：総復習 92：総復習 93：総復習 94：総復習 95：総復習 96：総復習 97：総復習 98：総復習 99：総復習 100：総復習	回			
テキスト 参考文献	大原学園「相続税法」				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	会計士入門	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	30	単位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士試験の財務会計論・管理会計論についての知識を身につける。 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する。				
到達目標	財務会計・管理会計についての理解を深める。				

授業内容	回	回
	01：財務会計の基礎知識 02：財務会計の基礎知識 03：財務会計の基礎知識 04：財務会計の基礎知識 05：財務会計の基礎知識 06：損益計算書総論 07：損益計算書総論 08：損益計算書総論 09：損益計算書総論 10：損益計算書総論 11：貸借対照表総論 12：貸借対照表総論 13：貸借対照表総論 14：貸借対照表総論 15：貸借対照表総論	16：部門別計算 17：個別原価計算 18：総合原価計算① 19：総合原価計算② 20：標準原価計算 21：原価計算基準① 22：問題演習 23：原価計算基準② 24：問題演習 25：原価計算基準③ 26：問題演習 27：原価計算基準④ 28：問題演習 29：原価計算基準⑤ 30：問題演習

テキスト 参考文献	財務会計論Ⅰ、管理会計論Ⅰ
成績基準	定期試験および答案練習70%　演習問題等の提出物30%
準備学習の 内　容	指定された範囲のテキストを見る。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	財務会計論	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	60	単位	6	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 簿記における中、上級レベルの計算処理技術の理解 日本における経済社会の中心的役割を担っている株式会社を対象とした簿記の学習をする。 【概要】 演習問題解答、解説により未学習項目の知識を習得する。演習期は、演習を解答、解説をすることにより知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	正確な計算処理技術の修得とその背景にある理論的な側面にも興味を持つようになること。				

授業内容	回	回
	01：財務会計の基礎知識① 02：財務会計の基礎知識② 03：損益計算書総論① 04：損益計算書総論② 05：貸借対照表総論① 06：貸借対照表総論② 07：会計公準及び会計主体論 08：資本維持論 09：収益費用・資産負債アプローチ① 10：収益費用・資産負債アプローチ② 11：財務会計機能と企業会計制度及び会計基準 12：一般原則 13；概念フレームワーク① 14：概念フレームワーク② 15：損益計算書の表示及び包括利益	16：収益認識と測定① 17：収益認識と測定② 18：収益認識と測定③ 19：貸借対照表の表示及び棚卸資産 20：棚卸資産① 21：棚卸資産② 22：有形固定資産① 23：有形固定資産② 24：リース会計① 25：リース会計② 26：無形固定資産及び投資その他の資産 27：固定資産の減損① 28：固定資産の減損② 29：繰延資産 30：研究開発費とソフトウェア

テキスト 参考文献	財務会計論Ⅰ～Ⅴテキスト、問題集 演習問題
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	テキストの例題の復習と指定した問題の演習を行い知識の定着を図り次の授業に備える。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	財務会計論	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	60	単位	6	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 簿記における中、上級レベルの計算処理技術の理解 日本における経済社会の中心的役割を担っている株式会社を対象とした簿記の学習をする。 【概要】 演習問題解答、解説により未学習項目の知識を習得する。演習期は、演習を解答、解説をすることにより知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	正確な計算処理技術の修得とその背景にある理論的な側面にも興味を持つようになること。				

授業内容	回	回
	31：演習問題の解答及び解説 32：演習問題の解答及び解説 33：演習問題の解答及び解説 34：演習問題の解答及び解説 35：演習問題の解答及び解説 36：演習問題の解答及び解説 37：演習問題の解答及び解説 38：演習問題の解答及び解説 39：演習問題の解答及び解説 40：演習問題の解答及び解説 41：演習問題の解答及び解説 42：演習問題の解答及び解説 43：演習問題の解答及び解説 44：演習問題の解答及び解説 45：演習問題の解答及び解説	46：演習問題の解答及び解説 47：演習問題の解答及び解説 48：演習問題の解答及び解説 49：演習問題の解答及び解説 50：演習問題の解答及び解説 51：演習問題の解答及び解説 52：演習問題の解答及び解説 53：演習問題の解答及び解説 54：演習問題の解答及び解説 55：演習問題の解答及び解説 56：演習問題の解答及び解説 57：演習問題の解答及び解説 58：演習問題の解答及び解説 59：演習問題の解答及び解説 60：演習問題の解答及び解説

テキスト 参考文献	財務会計論Ⅰ～Ⅴテキスト、問題集 演習問題
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の 内　容	テキストの例題の復習と指定した問題の演習を行い知識の定着を図り次の授業に備える。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	管理会計論	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	20	単位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 経営管理者に役立つ経済的情報を提供する会計知識を身に付けることを目的とする。 【概要】 講義、演習問題、解説により知識を習得する。				
到達目標	原価計算の知識と計算技術の理解・複合問題への対応力強化				
授業内容	回 01：部門別計算 02：個別原価計算 03：総合原価計算① 04：総合原価計算② 05：標準原価計算 07：原価計算基準① 08：問題演習 09：原価計算基準② 10：問題演習 11：原価計算基準③ 12：問題演習 13：原価計算基準④ 14：問題演習 15：原価計算基準⑤		回 16：問題演習 17：原価計算基準⑥ 18：問題演習 19：原価計算基準⑦ 20：問題演習		
テキスト 参考文献	管理会計論Ⅰ・Ⅱ　問題集、解答解説集				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。 80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の 内　容	テキストの例題の復習と指定した問題の演習を行い知識の定着を図り次の授業に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	監査論	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	20	単位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 財務諸表の監査証明業務の枠組みや理論的裏付けを身に付けること。 【概要】 テキストを中心に講義形式で講義を行い、知識を習得する。短答式試験に備え、肢別問題集で知識を確実なものとして合格を期します。				
到達目標	独立した立場による監査人の監査業務に関して必要となる指針を学習する。金融商品取引法や会社法にもとづく財務諸表監査において、実務上要求される知識と監査技術を習得する。				
授業内容	回 01：財務諸表監査総論、監査主体論 02：監査基準論、監査業務・証拠・手続 03：監査業務の契約、監査計画 04：リスク・アプローチ・評価及び手続 05：監査証拠入手方法、監査における重要性 06：特別な検討を要するリスク、関係 07：財務諸表監査における不正及び法令 08：グループ監査 09：監査の品質管理、監査調書 10：基礎知識、監査報告書の記載 11：追記情報、比較情報 12：継続企業の前提 13：中間監査、四半期レビュー 14：内部統制報告制度 15：総復習		回 16：演習問題の解答及び解説 17：演習問題の解答及び解説 18：演習問題の解答及び解説 19：演習問題の解答及び解説 20：演習問題の解答及び解説		
テキスト 参考文献	監査論テキスト、問題集、ポケットコンパス 肢別チェック				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の内　容	テキストを読み直し、授業内容の理解と基本的な概念、定義等の暗記を行い次の授業に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	企業法	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	20	単位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 私企業の存在と活動を規律する法の知識習得を目的とする。 【概要】 テキストを中心に講義形式で講義を行い、知識を習得する。短答式試験に備え、肢別問題集で知識を確実なもとして合格を期します。				
到達目標	全法体系における株式会社法の位置づけ、株式会社における種類に応じた機関構成と権限配分、業務執行者の権限及び業務と責任、株式会社の監査体制日ついて理解すること。諸制度を理解することにより、現実社会の諸活動を見通すことのできる知見を養う。				
授業内容	回 01：設立（総説、発起人、設立無効） 02：株式（概念、株式譲渡、自己株式取得） 03：機関（株主総会、取締役、監査役） 04：設立（株式の取得～単元株制度） 05：株式 06：機関 07：資金調達 08：社債 09：定款変更 10：事業譲渡 11：組織再編 12：解散・持分会社 13：商法 14：金融商品取引法 15：総復習		回 16：演習問題の解答及び解説 17：演習問題の解答及び解説 18：演習問題の解答及び解説 19：演習問題の解答及び解説 20：演習問題の解答及び解説		
テキスト 参考文献	企業法Ⅰ～Ⅱ、問題集、ポケットコンパス、肢別チェック				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	テキストを読み直し、授業内容の理解と基本的概念、定義等の暗記を行い次の授業に備える。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	租税法	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	20	単位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 法人税、所得税、消費税などの法律等の知識の習得と計算技術の習得を目的とする。 【概要】 講義、例題の解説、演習問題解答、解説により知識を習得する。				
到達目標	我が国における租税法の基本的知識及び理解を十分学ぶことにより、高度な実務が実践できる専門的な能力を習得する。				

授業内容	回	回
	01：法人税法 02：法人税法 03：評価テスト 04：法人税法 05：法人税法 06：法人税法 07：評価テスト 08：法人税法 09：法人税法 10：所得税法 11：所得税法 12：評価テスト 13：消費税法 14：消費税法 15：評価テスト	16：演習問題の解答及び解説 17：演習問題の解答及び解説 18：演習問題の解答及び解説 19：演習問題の解答及び解説 20：演習問題の解答及び解説

テキスト 参考文献	租税法Ⅰ～Ⅲ、各問題集、解答集 ポケットコンパス
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の内　容	テキストの例題の復習と指定した問題の演習を行い知識の定着を図り次の授業に備える。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	経営学	授業形態	講義	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	10	単位	1	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 経営学の基礎的知識、経営組織論、経営戦略論、日々の経済活動にみられる金融現象を体系的に理解できるようになる。 【概要】 講義形式で授業を進めていく。				
到達目標	経営学の基礎的知識、経営組織論、経営戦略論、日々の経済活動にみられる金融現象を基本的な概念や理論を理解し、説明できるようになる。				
授業内容	回 01：投資理論 02：企業財務論 03：デリバティブ 04：アメリカ経営学説 05：組織構造論 06：経営戦略論基礎概念 07：経営戦略論 08：マーケティング論 09：経営戦略の展開方式とその他 10：演習問題の解答及び解説	回			
テキスト 参考文献	テキスト(上・下巻)、問題集、ポケットコンパス				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	準備学習は、テキストを精読し、専門用語を調べておく。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	会計士試験対策演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士の問題演習を通じて短答式試験および論文式試験に合格する能力を習得する。 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	1. 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する。 2. 監査人として働くための応用知識を得る。				
授業内容	回 01：財務会計論の問題演習の解答及び解説 02：財務会計論の問題演習の解答及び解説 03：財務会計論の問題演習の解答及び解説 04：財務会計論の問題演習の解答及び解説 05：財務会計論の問題演習の解答及び解説 06：財務会計論の問題演習の解答及び解説 07：財務会計論の問題演習の解答及び解説 08：財務会計論の問題演習の解答及び解説 09：財務会計論の問題演習の解答及び解説 10：財務会計論の問題演習の解答及び解説 11：財務会計論の問題演習の解答及び解説 12：財務会計論の問題演習の解答及び解説 13：財務会計論の問題演習の解答及び解説 14：財務会計論の問題演習の解答及び解説 15：財務会計論の問題演習の解答及び解説		回 16：管理会計論の問題演習の解答及び解説 17：管理会計論の問題演習の解答及び解説 18：管理会計論の問題演習の解答及び解説 19：管理会計論の問題演習の解答及び解説 20：管理会計論の問題演習の解答及び解説 21：管理会計論の問題演習の解答及び解説 22：管理会計論の問題演習の解答及び解説 23：管理会計論の問題演習の解答及び解説 24：管理会計論の問題演習の解答及び解説 25：管理会計論の問題演習の解答及び解説 26：管理会計論の問題演習の解答及び解説 27：管理会計論の問題演習の解答及び解説 28：管理会計論の問題演習の解答及び解説 29：管理会計論の問題演習の解答及び解説 30：管理会計論の問題演習の解答及び解説		
テキスト 参考文献	応用答練・直対答練				
成績基準	定期試験および答案練習70%　演習問題等の提出物30%				
準備学習の 内　容	指定された範囲のテキストを見る。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	会計士試験対策演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士の問題演習を通じて短答式試験および論文式試験に合格する能力を習得する。 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	1. 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する。 2. 監査人として働くための応用知識を得る。				

授業内容	回	回
	31：監査論の問題演習の解答及び解説 32：監査論の問題演習の解答及び解説 33：監査論の問題演習の解答及び解説 34：監査論の問題演習の解答及び解説 35：監査論の問題演習の解答及び解説 36：監査論の問題演習の解答及び解説 37：監査論の問題演習の解答及び解説 38：監査論の問題演習の解答及び解説 39：監査論の問題演習の解答及び解説 40：監査論の問題演習の解答及び解説 41：監査論の問題演習の解答及び解説 42：監査論の問題演習の解答及び解説 43：監査論の問題演習の解答及び解説 44：監査論の問題演習の解答及び解説 45：監査論の問題演習の解答及び解説	46：企業法の問題演習の解答及び解説 47：企業法の問題演習の解答及び解説 48：企業法の問題演習の解答及び解説 49：企業法の問題演習の解答及び解説 50：企業法の問題演習の解答及び解説 51：企業法の問題演習の解答及び解説 52：企業法の問題演習の解答及び解説 53：企業法の問題演習の解答及び解説 54：企業法の問題演習の解答及び解説 55：企業法の問題演習の解答及び解説 56：企業法の問題演習の解答及び解説 57：企業法の問題演習の解答及び解説 58：企業法の問題演習の解答及び解説 59：企業法の問題演習の解答及び解説 60：企業法の問題演習の解答及び解説
テキスト 参考文献	応用答練・直対答練	
成績基準	定期試験および答案練習70%　演習問題等の提出物30%	
準備学習の 内　容	指定された範囲のテキストを見る。	

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	会計士試験対策演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士の問題演習を通じて短答式試験および論文式試験に合格する能力を習得する。 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	1. 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する。 2. 監査人として働くための応用知識を得る。				
授業内容	回 61：租税法の問題演習の解答及び解説 62：租税法の問題演習の解答及び解説 63：租税法の問題演習の解答及び解説 64：租税法の問題演習の解答及び解説 65：租税法の問題演習の解答及び解説 66：租税法の問題演習の解答及び解説 67：租税法の問題演習の解答及び解説 68：租税法の問題演習の解答及び解説 69：租税法の問題演習の解答及び解説 70：租税法の問題演習の解答及び解説 71：租税法の問題演習の解答及び解説 72：租税法の問題演習の解答及び解説 73：租税法の問題演習の解答及び解説 74：租税法の問題演習の解答及び解説 75：租税法の問題演習の解答及び解説	回 76：経営学の問題演習の解答及び解説 77：経営学の問題演習の解答及び解説 78：経営学の問題演習の解答及び解説 79：経営学の問題演習の解答及び解説 80：経営学の問題演習の解答及び解説 81：経営学の問題演習の解答及び解説 82：経営学の問題演習の解答及び解説 83：経営学の問題演習の解答及び解説 84：経営学の問題演習の解答及び解説 85：経営学の問題演習の解答及び解説 86：経営学の問題演習の解答及び解説 87：経営学の問題演習の解答及び解説 88：経営学の問題演習の解答及び解説 89：経営学の問題演習の解答及び解説 90：経営学の問題演習の解答及び解説			
テキスト 参考文献	応用答練・直対答練				
成績基準	定期試験および答案練習70%　演習問題等の提出物30%				
準備学習の 内　容	指定された範囲のテキストを見る。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	会計士試験対策演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	松永年史
授業回数	100	単位	10	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士の問題演習を通じて短答式試験および論文式試験に合格する能力を習得する。 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	1. 公認会計士試験の短答式・論文式の合格点に到達する。 2. 監査人として働くための応用知識を得る。				
授業内容	回 91：演習問題の解答及び解説 92：演習問題の解答及び解説 93：演習問題の解答及び解説 94：演習問題の解答及び解説 95：演習問題の解答及び解説 96：演習問題の解答及び解説 97：演習問題の解答及び解説 98：演習問題の解答及び解説 99：演習問題の解答及び解説 100：演習問題の解答及び解説	回			
テキスト 参考文献	応用答練・直対答練				
成績基準	定期試験および答案練習70%　演習問題等の提出物30%				
準備学習の 内　容	指定された範囲のテキストを見る。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	論文式対策演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	200	単位	20	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を習得する。 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	1. 公認会計士試験の論文式の合格点に到達する。 2. 監査人として働くための応用知識を得る。				
授業内容	回 01：財務会計論の問題演習の解答及び解説 02：財務会計論の問題演習の解答及び解説 03：財務会計論の問題演習の解答及び解説 04：財務会計論の問題演習の解答及び解説 05：財務会計論の問題演習の解答及び解説 06：財務会計論の問題演習の解答及び解説 07：財務会計論の問題演習の解答及び解説 08：財務会計論の問題演習の解答及び解説 09：財務会計論の問題演習の解答及び解説 10：財務会計論の問題演習の解答及び解説 11：財務会計論の問題演習の解答及び解説 12：財務会計論の問題演習の解答及び解説 13：財務会計論の問題演習の解答及び解説 14：財務会計論の問題演習の解答及び解説 15：財務会計論の問題演習の解答及び解説		回 16：管理会計論の問題演習の解答及び解説 17：管理会計論の問題演習の解答及び解説 18：管理会計論の問題演習の解答及び解説 19：管理会計論の問題演習の解答及び解説 20：管理会計論の問題演習の解答及び解説 21：管理会計論の問題演習の解答及び解説 22：管理会計論の問題演習の解答及び解説 23：管理会計論の問題演習の解答及び解説 24：管理会計論の問題演習の解答及び解説 25：管理会計論の問題演習の解答及び解説 26：管理会計論の問題演習の解答及び解説 27：管理会計論の問題演習の解答及び解説 28：管理会計論の問題演習の解答及び解説 29：管理会計論の問題演習の解答及び解説 30：管理会計論の問題演習の解答及び解説	
テキスト 参考文献	応用答練・直対答練				
成績基準	定期試験および答案練習70%　演習問題等の提出物30%				
準備学習の 内　容	指定された範囲のテキストを見る。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	論文式対策演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	200	単位	20	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を習得する。 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	1. 公認会計士試験の論文式の合格点に到達する。 2. 監査人として働くための応用知識を得る。				

授業内容	回	回
	31：監査論の問題演習の解答及び解説 32：監査論の問題演習の解答及び解説 33：監査論の問題演習の解答及び解説 34：監査論の問題演習の解答及び解説 35：監査論の問題演習の解答及び解説 36：監査論の問題演習の解答及び解説 37：監査論の問題演習の解答及び解説 38：監査論の問題演習の解答及び解説 39：監査論の問題演習の解答及び解説 40：監査論の問題演習の解答及び解説 41：監査論の問題演習の解答及び解説 42：監査論の問題演習の解答及び解説 43：監査論の問題演習の解答及び解説 44：監査論の問題演習の解答及び解説 45：監査論の問題演習の解答及び解説	46：企業法の問題演習の解答及び解説 47：企業法の問題演習の解答及び解説 48：企業法の問題演習の解答及び解説 49：企業法の問題演習の解答及び解説 50：企業法の問題演習の解答及び解説 51：企業法の問題演習の解答及び解説 52：企業法の問題演習の解答及び解説 53：企業法の問題演習の解答及び解説 54：企業法の問題演習の解答及び解説 55：企業法の問題演習の解答及び解説 56：企業法の問題演習の解答及び解説 57：企業法の問題演習の解答及び解説 58：企業法の問題演習の解答及び解説 59：企業法の問題演習の解答及び解説 60：企業法の問題演習の解答及び解説

テキスト 参考文献	応用答練・直対答練
成績基準	定期試験および答案練習70%　演習問題等の提出物30%
準備学習の 内　容	指定された範囲のテキストを見る。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	論文式対策演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	200	単位	20	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を習得する。 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	1. 公認会計士試験の論文式の合格点に到達する。 2. 監査人として働くための応用知識を得る。				

授業内容	回	回
	61：租税法の問題演習の解答及び解説 62：租税法の問題演習の解答及び解説 63：租税法の問題演習の解答及び解説 64：租税法の問題演習の解答及び解説 65：租税法の問題演習の解答及び解説 66：租税法の問題演習の解答及び解説 67：租税法の問題演習の解答及び解説 68：租税法の問題演習の解答及び解説 69：租税法の問題演習の解答及び解説 70：租税法の問題演習の解答及び解説 71：租税法の問題演習の解答及び解説 72：租税法の問題演習の解答及び解説 73：租税法の問題演習の解答及び解説 74：租税法の問題演習の解答及び解説 75：租税法の問題演習の解答及び解説	76：経営学の問題演習の解答及び解説 77：経営学の問題演習の解答及び解説 78：経営学の問題演習の解答及び解説 79：経営学の問題演習の解答及び解説 80：経営学の問題演習の解答及び解説 81：経営学の問題演習の解答及び解説 82：経営学の問題演習の解答及び解説 83：経営学の問題演習の解答及び解説 84：経営学の問題演習の解答及び解説 85：経営学の問題演習の解答及び解説 86：経営学の問題演習の解答及び解説 87：経営学の問題演習の解答及び解説 88：経営学の問題演習の解答及び解説 89：経営学の問題演習の解答及び解説 90：経営学の問題演習の解答及び解説

テキスト 参考文献	応用答練・直対答練
成績基準	定期試験および答案練習70%　演習問題等の提出物30%
準備学習の 内　容	指定された範囲のテキストを見る。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	論文式対策演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	200	単位	20	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を習得する。 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	1. 公認会計士試験の論文式の合格点に到達する。 2. 監査人として働くための応用知識を得る。				

授業内容	回	回
	91：演習問題の解答及び解説 92：演習問題の解答及び解説 93：演習問題の解答及び解説 94：演習問題の解答及び解説 95：演習問題の解答及び解説 96：演習問題の解答及び解説 97：演習問題の解答及び解説 98：演習問題の解答及び解説 99：演習問題の解答及び解説 100：演習問題の解答及び解説 101：演習問題の解答及び解説 102：演習問題の解答及び解説 103：演習問題の解答及び解説 104：演習問題の解答及び解説 105：演習問題の解答及び解説	106：演習問題の解答及び解説 107：演習問題の解答及び解説 108：演習問題の解答及び解説 109：演習問題の解答及び解説 110：演習問題の解答及び解説 111：演習問題の解答及び解説 112：演習問題の解答及び解説 113：演習問題の解答及び解説 114：演習問題の解答及び解説 115：演習問題の解答及び解説 116：演習問題の解答及び解説 117：演習問題の解答及び解説 118：演習問題の解答及び解説 119：演習問題の解答及び解説 120：演習問題の解答及び解説

テキスト 参考文献	応用答練・直対答練
成績基準	定期試験および答案練習70%　演習問題等の提出物30%
準備学習の 内　容	指定された範囲のテキストを見る。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	論文式対策演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	200	単位	20	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を習得する。 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	1. 公認会計士試験の論文式の合格点に到達する。 2. 監査人として働くための応用知識を得る。				

授業内容	回	回
	121：演習問題の解答及び解説 122：演習問題の解答及び解説 123：演習問題の解答及び解説 124：演習問題の解答及び解説 125：演習問題の解答及び解説 126：演習問題の解答及び解説 127：演習問題の解答及び解説 128：演習問題の解答及び解説 129：演習問題の解答及び解説 130：演習問題の解答及び解説 131：演習問題の解答及び解説 132：演習問題の解答及び解説 133：演習問題の解答及び解説 134：演習問題の解答及び解説 135：演習問題の解答及び解説	136：演習問題の解答及び解説 137：演習問題の解答及び解説 138：演習問題の解答及び解説 139：演習問題の解答及び解説 140：演習問題の解答及び解説 141：演習問題の解答及び解説 142：演習問題の解答及び解説 143：演習問題の解答及び解説 144：演習問題の解答及び解説 145：演習問題の解答及び解説 146：演習問題の解答及び解説 147：演習問題の解答及び解説 148：演習問題の解答及び解説 149：演習問題の解答及び解説 150：演習問題の解答及び解説

テキスト 参考文献	応用答練・直対答練
成績基準	定期試験および答案練習70%　演習問題等の提出物30%
準備学習の 内　容	指定された範囲のテキストを見る。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	論文式対策演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	200	単位	20	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を習得する。 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	1. 公認会計士試験の論文式の合格点に到達する。 2. 監査人として働くための応用知識を得る。				
授業内容	回 151：演習問題の解答及び解説 152：演習問題の解答及び解説 153：演習問題の解答及び解説 154：演習問題の解答及び解説 155：演習問題の解答及び解説 156：演習問題の解答及び解説 157：演習問題の解答及び解説 158：演習問題の解答及び解説 159：演習問題の解答及び解説 160：演習問題の解答及び解説 161：演習問題の解答及び解説 162：演習問題の解答及び解説 163：演習問題の解答及び解説 164：演習問題の解答及び解説 165：演習問題の解答及び解説		回 166：演習問題の解答及び解説 167：演習問題の解答及び解説 168：演習問題の解答及び解説 169：演習問題の解答及び解説 170：演習問題の解答及び解説 171：演習問題の解答及び解説 172：演習問題の解答及び解説 173：演習問題の解答及び解説 174：演習問題の解答及び解説 175：演習問題の解答及び解説 176：演習問題の解答及び解説 177：演習問題の解答及び解説 178：演習問題の解答及び解説 179：演習問題の解答及び解説 180：演習問題の解答及び解説		
テキスト 参考文献	応用答練・直対答練				
成績基準	定期試験および答案練習70%　演習問題等の提出物30%				
準備学習の 内　容	指定された範囲のテキストを見る。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	論文式対策演習	授業形態	演習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史
授業回数	200	単位	20	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 公認会計士の問題演習を通じて論文式試験に合格する能力を習得する。 【概要】 問題演習を通じて解答方法や内容を理解する				
到達目標	1. 公認会計士試験の論文式の合格点に到達する。 2. 監査人として働くための応用知識を得る。				
授業内容	回 181：演習問題の解答及び解説 182：演習問題の解答及び解説 183：演習問題の解答及び解説 184：演習問題の解答及び解説 185：演習問題の解答及び解説 186：演習問題の解答及び解説 187：演習問題の解答及び解説 188：演習問題の解答及び解説 189：演習問題の解答及び解説 190：演習問題の解答及び解説 191：演習問題の解答及び解説 192：演習問題の解答及び解説 193：演習問題の解答及び解説 194：演習問題の解答及び解説 195：演習問題の解答及び解説	回 196：演習問題の解答及び解説 197：演習問題の解答及び解説 198：演習問題の解答及び解説 199：演習問題の解答及び解説 200：演習問題の解答及び解説			
テキスト 参考文献	応用答練・直対答練				
成績基準	定期試験および答案練習70%　演習問題等の提出物30%				
準備学習の 内　容	指定された範囲のテキストを見る。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	ビジネス基礎（共通）	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	渡辺将史 西田裕香
授業回数	60	単位	4	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 ビジネスマナーや社会常識の習得を通して新社会人としての意識を養成する。また、各種実務において必要となる文書作成ソフトなどのパソコン活用技能の習得を目的とする。 【概要】 社会人として求められる言葉遣いや身だしなみをはじめ、接遇マナーや、あらゆる職種に共通する基本的な知識・技能を身につけ、入社に備える。				
到達目標	社会人として求められる基本的なマナーや接遇能力を理解・習得し、新入社員としての自覚を持ち、適切な言動ができるようになる。				

授業内容	回	回
	01：職場のマナー 02：職場のマナー 03：職場のマナー 04：職場のマナー 05：職場のマナー 06：職場のマナー 07：職場のマナー 08：職場のマナー 09：職場のマナー 10：職場のマナー 11：職場のマナー 12：職場のマナー 13：挨拶と敬語 14：挨拶と敬語 15：挨拶と敬語	16：挨拶と敬語 17：挨拶と敬語 18：挨拶と敬語 19：挨拶と敬語 20：挨拶と敬語 21：挨拶と敬語 22：挨拶と敬語 23：挨拶と敬語 24：挨拶と敬語 25：文書の作成と管理 26：文書の作成と管理 27：文書の作成と管理 28：文書の作成と管理 29：文書の作成と管理 30：文書の作成と管理

テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」「PCPパソコン実習テキスト」等
成績基準	取組姿勢や定期試験（効果測定）の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	テキストの学習終了範囲を使い、その日の授業内容を次回の授業までに復習する。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	ビジネス基礎（共通）	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	渡辺将史 西田裕香
授業回数	60	単位	4	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 ビジネスマナーや社会常識の習得を通して新社会人としての意識を養成する。また、各種実務において必要となる文書作成ソフトなどのパソコン活用技能の習得を目的とする。 【概要】 社会人として求められる言葉遣いや身だしなみをはじめ、接遇マナーや、あらゆる職種に共通する基本的な知識・技能を身につけ、入社に備える。				
到達目標	社会人として求められる基本的なマナーや接遇能力を理解・習得し、新入社員としての自覚を持ち、適切な言動ができるようになる。				

授業内容	回	回
	31：文書の作成と管理 32：文書の作成と管理 33：文書の作成と管理 34：文書の作成と管理 35：文書の作成と管理 36：一般的なビジネス文書の作成 37：一般的なビジネス文書の作成 38：一般的なビジネス文書の作成 39：一般的なビジネス文書の作成 40：一般的なビジネス文書の作成 41：一般的なビジネス文書の作成 42：一般的なビジネス文書の作成 43：一般的なビジネス文書の作成 44：一般的なビジネス文書の作成 45：一般的なビジネス文書の作成	46：一般的なビジネス文書の作成 47：シンプルなレポートや報告書の作成 48：シンプルなレポートや報告書の作成 49：シンプルなレポートや報告書の作成 50：シンプルなレポートや報告書の作成 51：シンプルなレポートや報告書の作成 52：シンプルなレポートや報告書の作成 53：シンプルなレポートや報告書の作成 54：シンプルなレポートや報告書の作成 55：シンプルなレポートや報告書の作成 56：シンプルなレポートや報告書の作成 57：シンプルなレポートや報告書の作成 58：ビジネス基礎（共通）効果測定 59：ビジネス基礎（共通）効果測定 60：ビジネス基礎（共通）効果測定

テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」「PCPパソコン実習テキスト」等
成績基準	取組姿勢や定期試験（効果測定）の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	テキストの学習終了範囲を使い、その日の授業内容を次回の授業までに復習する。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	ビジネスマナー基礎	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	大内史彦 西田裕香
授業回数	15	単位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 新社会人として求められるマナーや社会常識を実践的に学び、ビジネスマインドの定着を図る。 【概要】 電話応対の実習を通して、社会人として適切な言葉遣いや対応力を身につけ、入社後の業務に備える。				
到達目標	社会人として必要なマナーと対応力を習得し、新入社員としての自覚を高める。				
授業内容	回 01：基本的な電話応答 02：基本フレーズ 03：受け方の基本 04：受け方の例 05：伝言メモ 06：道案内 07：かけ方の基本 08：かけ方の例 09：状況別の応対方法 10：電話応対の練習１ 11：伝言の復唱 12：電話応対の練習２ 13：ビジネスマナー基礎効果測定 14：ビジネスマナー基礎効果測定 15：ビジネスマナー基礎効果測定	回			
テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」等				
成績基準	取組姿勢や定期試験（効果測定）の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	テキストの学習終了範囲を使い、その日の授業内容を次回の授業までに復習する。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	ビジネス応用（経理Ⅰ）	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	渡辺将史 松永年史
授業回数	120	単位	8	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 実践的なビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。また、経理実務担当者として必要な表計算ソフト処理技術や情報活用等の技能を習得する。 【概要】 社会人、特に受付事務として必要な来客対応などの接遇マナー、内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。				
到達目標	社会人として好印象を与える応用的なビジネスマナーと接遇能力を習得し、新入社員としての自覚が持てる。				

授業内容	回	回
	01：職場のマナー 02：職場のマナー 03：職場のマナー 04：職場のマナー 05：挨拶・敬語 06：挨拶・敬語 07：挨拶・敬語 08：挨拶・敬語 09：電話応対応用 10：電話応対応用 11：電話応対応用 12：電話応対応用 13：接遇マナー概要と心構え 14：接遇マナー概要と心構え 15：接遇マナー概要と心構え	16：接遇実習 17：接遇実習 18：接遇実習 19：接遇実習 20：接遇実習 21：接遇実習 22：接遇実習 23：接遇実習 24：接遇実習 25：接遇マナー効果測定 26：接遇マナー効果測定 27：接遇マナー効果測定 28：接遇マナー効果測定 29：接遇マナー効果測定 30：接遇マナー効果測定

テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」「PCP販売管理テキスト」　等
成績基準	取組姿勢や定期試験（効果測定）の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	学習終了範囲の練習問題、補助問題演習における理解度及び定着度の確認

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	ビジネス応用（経理Ⅰ）	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	渡辺将史 松永年史
授業回数	120	単位	8	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 実践的なビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。また、経理実務担当者として必要な表計算ソフト処理技術や情報活用等の技能を習得する。 【概要】 社会人、特に受付事務として必要な来客対応などの接遇マナー、内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。				
到達目標	社会人として好印象を与える応用的なビジネスマナーと接遇能力を習得し、新入社員としての自覚が持てる。				

授業内容	回	回
	31：接遇マナー効果測定 32：接遇マナー効果測定 33：売上事務の流れ 34：売上事務の流れ 35：売上事務の流れ 36：納品書作成と売上計上 37：納品書作成と売上計上 38：請求書の作成と代金回収管理 39：請求書の作成と代金回収管理 40：仕入事務の流れと記帳 41：仕入事務の流れと記帳 42：仕入代金の支払いと買掛金管理 43：仕入代金の支払いと買掛金管理 44：Excel実務会計実習 45：Excel実務会計実習	46：表計算の基本操作 47：表計算の基本操作 48：表計算の編集 49：表計算の編集 50：表計算の関数 51：表計算の関数 52：表計算の関数 53：表計算の集計 54：表計算の集計 55：表計算のグラフ作成 56：表計算のグラフ作成 57：表計算のデータベース機能 58：表計算のデータベース機能 59：表計算のデータ抽出 60：表計算のデータ抽出

テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」「PCP販売管理テキスト」　等
成績基準	取組姿勢や定期試験（効果測定）の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	学習終了範囲の練習問題、補助問題演習における理解度及び定着度の確認

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	ビジネス応用（経理Ⅰ）	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	渡辺将史 松永年史
授業回数	120	単位	8	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 実践的なビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。また、経理実務担当者として必要な表計算ソフト処理技術や情報活用等の技能を習得する。 【概要】 社会人、特に受付事務として必要な来客対応などの接遇マナー、内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。				
到達目標	社会人として好印象を与える応用的なビジネスマナーと接遇能力を習得し、新入社員としての自覚が持てる。				

授業内容	回	回
	61：表計算のピボットテーブル 62：表計算のピボットテーブル 63：表計算のマクロ 64：表計算のマクロ 65：表計算効果測定 66：時事研究 67：時事研究 68：時事研究 69：テーマの個人研究 70：テーマの個人研究 71：テーマの個人研究 72：テーマの個人研究 73：時事研究テーマによるディベート 74：時事研究テーマによるディベート 75：時事研究テーマによるディベート	76：時事研究テーマによるディベート 77：グループ研究の資料作成 78：グループ研究の資料作成 79：グループ研究の資料作成 80：グループ研究の資料作成 81：グループ研究の資料作成 82：グループ研究の発表 83：グループ研究の発表 84：グループ研究の発表 85：グループ研究の発表 86：グループ研究の発表 87：マーケティングと顧客満足 88：マーケティングと顧客満足 89：会社の目的 90：会社の目的

テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」「PCP販売管理テキスト」　等
成績基準	取組姿勢や定期試験（効果測定）の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	学習終了範囲の練習問題、補助問題演習における理解度及び定着度の確認

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	ビジネス応用（経理Ⅰ）	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	渡辺将史 松永年史
授業回数	120	単位	8	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 実践的なビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。また、経理実務担当者として必要な表計算ソフト処理技術や情報活用等の技能を習得する。 【概要】 社会人、特に受付事務として必要な来客対応などの接遇マナー、内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。				
到達目標	社会人として好印象を与える応用的なビジネスマナーと接遇能力を習得し、新入社員としての自覚が持てる。				

授業内容	回	回
	91：財務知識と決算書および事例研究 92：財務知識と決算書および事例研究 93：財務知識と決算書および事例研究 94：財務知識と決算書および事例研究 95：財務知識と決算書および事例研究 96：財務知識と決算書および事例研究 97：財務知識と決算書および事例研究 98：財務知識と決算書および事例研究 99：財務知識と決算書および事例研究 100：財務知識と決算書および事例研究 101：マーケティング効果測定① 102：流動比率と固定比率 103：流動比率と固定比率 104：流動比率と固定比率 105：同業企業比較	106：同業企業比較 107：同業企業比較 108：B/S診断 109：B/S診断 110：B/S診断 111：マーケティング効果測定② 112：表計算のデータ抽出 113：表計算のデータ抽出 114：様々なマーケティング 115：様々なマーケティング 116：情報収集および分析 117：情報収集および分析 118：不況時のマーケティング 119：不況時のマーケティング 120：効果測定

テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」「PCP販売管理テキスト」　等
成績基準	取組姿勢や定期試験（効果測定）の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	学習終了範囲の練習問題、補助問題演習における理解度及び定着度の確認

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	ビジネス応用(事務Ⅰ)	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	大内史彦 西田裕香
授業回数	120	単位	8	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 新社会人に向けて、実践的なビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。 【概要】 社会人、特に受付事務として必要な来客対応などの接遇マナー、内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。				
到達目標	社会人として好印象を与える応用的なビジネスマナーと接遇能力を習得し、新入社員としての自覚が持てる。				

授業内容	回	回
	01：職場のマナー 02：社会人としての心構え 03：組織の目的 04：組織の基本形態 05：就業中のマナー 06：身だしなみ 07：立ち居振舞い 08：聞き方・話し方 09：仕事の進め方 10：仕事の流れ 11：「ほう・れん・そう」とは 12：「ほう・れん・そう」の必要性 13：「ほう・れん・そう」の練習① 14：「ほう・れん・そう」の練習② 15：「ほう・れん・そう」の練習③	16：挨拶の必要性 17：基本的な挨拶 18：状況に応じた挨拶 19：笑顔・お辞儀 20：敬語の必要性 21：敬語の種類・表現 22：クッション言葉 23：状況に応じた言葉遣い 24：来客応対 25：名刺交換の基本 26：名刺交換の練習① 27：名刺交換の練習② 28：名刺交換の応用① 29：名刺交換の応用② 30：来客応対実践

テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」「PCP経理実務テキスト」 等
成績基準	取組姿勢や定期試験（効果測定）の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	学習終了範囲の練習問題、補助問題演習における理解度及び定着度の確認

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	ビジネス応用(事務Ⅰ)	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	大内史彦 西田裕香
授業回数	120	単位	8	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 新社会人に向けて、実践的なビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。 【概要】 社会人、特に受付事務として必要な来客対応などの接遇マナー、内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。				
到達目標	社会人として好印象を与える応用的なビジネスマナーと接遇能力を習得し、新入社員としての自覚が持てる。				

授業内容	回	回
	31：電話応対のマナー 32：基本的な電話応対 33：電話応対の基本フレーズ 34：電話の受け方の基本・例 35：伝言メモ 36：状況別の電話応対 37：伝言の復唱① 38：伝言の復唱② 39：電話応対の練習① 40：電話応対の練習② 41：電話応対の練習③ 42：電話応対の練習④ 43：電話応対効果測定 44：電話応対効果測定 45：電話応対効果測定	46：電話応対効果測定 47：時事研究 48：テーマの個人研究 49：テーマの個人研究 50：時事研究テーマによるディベート 51：時事研究テーマによるディベート 52：時事研究テーマによるディベート 53：時事研究テーマによるディベート 54：社会人マナー 55：郵便の知識とサービス内容 56：送り状・返信用ハガキ作成 57：冠婚葬祭とは 58：慶事のマナー 59：弔事のマナー 60：贈物の知識

テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」　「PCP経理実務テキスト」　等
成績基準	取組姿勢や定期試験（効果測定）の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の内　容	学習終了範囲の練習問題、補助問題演習における理解度及び定着度の確認

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	ビジネス応用(事務Ⅰ)	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	大内史彦 会議の
授業回数	120	単位	8	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 新社会人に向けて、実践的なビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。 【概要】 社会人、特に受付事務として必要な来客対応などの接遇マナー、内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。				
到達目標	社会人として好印象を与える応用的なビジネスマナーと接遇能力を習得し、新入社員としての自覚が持てる。				

授業内容	回	回
	61：のし袋のマナー 62：お見舞いのマナー 63：お返しのマナー 64：テーブルマナー 65：立食のマナー 66：会食の心得 67：ビジネス文書の基本 68：社内文書の形式 69：社外文書の形式 70：文書作成時のポイント 71：時候の挨拶 72：前文・末文の挨拶 73：ビジネス文書作成① 74：ビジネス文書作成② 75：ビジネス文書作成③	76：ビジネスメールの書き方 77：メールの返信ルール 78：メール添付ファイル 79：ビジネスメール作成① 80：ビジネスメール作成② 81：ビジネスメール作成③ 82：会議・会合 83：会議の留意事項 84：会議の用語 85：会議の形態 86：会議参加の心得 87：ロールプレイング① 88：ロールプレイング② 89：議事録作成① 90：議事録作成②

テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」　「PCP経理実務テキスト」　等
成績基準	取組姿勢や定期試験（効果測定）の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	学習終了範囲の練習問題、補助問題演習における理解度及び定着度の確認

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	ビジネス応用(事務Ⅰ)	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	大内史彦 西田裕香
授業回数	120	単位	8	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 新社会人に向けて、実践的なビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。 【概要】 社会人、特に受付事務として必要な来客対応などの接遇マナー、内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。				
到達目標	社会人として好印象を与える応用的なビジネスマナーと接遇能力を習得し、新入社員としての自覚が持てる。				

授業内容	回	回
	91：経理総務の年間カリキュラム 92：小切手・手形の実務上のポイント 93：入出金伝票と現金出納帳 94：社会保険の概要 95：社会保険の会計処理 96：源泉所得税の概要 97：源泉所得税（給与）の徴収 98：源泉所得税（賞与）の徴収 99：源泉所得税（報酬）の徴収 100：源泉所得税の納付 101：個人住民税の徴収 102：個人住民税の納付 103：印紙税の基礎知識 104：受取利息の会計処理 105：消費税法の概要	106：消費税の会計処理 107：労働保険料の概要 108：日々の記帳から決算までの流れ 109：伝票問題① 110：伝票問題② 111：試算表作成 112：中小企業の経営分析 113：売上総利益率 114：売上高経常利益率 115：流動比率 116：当座比率 117：固定比率 118：自己資本比率 119：損益分岐点売上高 120：総まとめ演習

テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」　「PCP経理実務テキスト」　等
成績基準	取組姿勢や定期試験（効果測定）の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	学習終了範囲の練習問題、補助問題演習における理解度及び定着度の確認

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	ビジネス応用(営業販売Ⅰ)	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	西田裕香 山本里紗
授業回数	120	単位	8	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 「コスト意識」や「費用対効果」について理解を深めるとともに、財務諸表に関する知識を身につけ、企業の安全性などを比較・分析できる力を養う。また、数字に強くなり、抽象的ではなく具体的な表現で説明できる力を身につける。 【概要】 顧客視点および経営側の視点から考える体験を通して、マーケティングに必要な能力を身につける。企業の実際のデータを基に分析を行い、収益力向上のための企画をグループワークで立案する。				

到達目標	卒業研究として実在する店舗を対象とし、各種分析手法を活用して収益力を高めるための企画を立案できるようになる。	
授業内容	回 01：職場のマナー 02：職場のマナー 03：挨拶・敬語 04：挨拶・敬語 05：電話応対応用 06：電話応対応用 07：接遇マナー概要と心構え 08：接遇実習 09：接遇実習 10：接遇実習 11：接遇実習 12：接遇マナー効果測定 13：接遇マナー効果測定 14：接遇マナー効果測定 15：売上事務の流れ	回 16：納品書作成と売上計上 17：請求書の作成と代金回収管理 18：仕入事務の流れと記帳 19：仕入代金の支払いと買掛金管理 20：Excel実務会計実習 21：表計算の基本操作 22：表計算の編集 23：表計算の関数 24：表計算の集計 25：表計算のグラフ作成 26：表計算のデータベース機能 27：表計算のデータ抽出 28：表計算のピボットテーブル 29：表計算のマクロ 30：表計算効果測定
テキスト 参考文献	大原出版「PCPマーケティングテキスト」	
成績基準	取組姿勢や定期試験（効果測定）の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。	
準備学習の 内　容	テキストの学習終了範囲を使い、その日の授業内容を次回の授業までに復習する。	

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	ビジネス応用(営業販売Ⅰ)	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	西田裕香 山本里紗
授業回数	120	単位	8	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 「コスト意識」や「費用対効果」について理解を深めるとともに、財務諸表に関する知識を身につけ、企業の安全性などを比較・分析できる力を養う。また、数字に強くなり、抽象的ではなく具体的な表現で説明できる力を身につける。 【概要】 顧客視点および経営側の視点から考える体験を通して、マーケティングに必要な能力を身につける。企業の実際のデータを基に分析を行い、収益力向上のための企画をグループワークで立案する。				

到達目標	卒業研究として実在する店舗を対象とし、各種分析手法を活用して収益力を高めるための企画を立案できるようになる。

授業内容	回	回
	31：時事研究 32：テーマの個人研究 33：テーマの個人研究 34：時事研究テーマによるディベート 35：時事研究テーマによるディベート 36：グループ研究の資料作成 37：グループ研究の資料作成 38：グループ研究の発表 39：グループ研究の発表 40：マーケティングと顧客満足 41：会社の目的 42：財務知識と決算書および事例研究 43：財務知識と決算書および事例研究 44：財務知識と決算書および事例研究 45：マーケティング効果測定①	46：流動比率と固定比率 47：同業企業比較 48：B/S診断 49：マーケティング効果測定② 50：表計算のデータ抽出 51：様々なマーケティング 52：情報収集および分析 53：不況時のマーケティング 54：効果測定

テキスト 参考文献	大原出版「PCPマーケティングテキスト」
成績基準	取組姿勢や定期試験（効果測定）の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	テキストの学習終了範囲を使い、その日の授業内容を次回の授業までに復習する。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	ビジネス応用(経理Ⅱ)	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	渡辺将史 松永年史
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 経理実務担当者として求められる財務会計や税務会計の知識を習得する。PC会計処理について基本的な項目と操作、入力処理を身に付け、決算書作成までの流れを習得する。 【概要】 経理処理上必須となる税務会計及び中～大規模企業で必要な財務会計知識を学習する。				
到達目標	卒業後、経理事務職の即戦力として業務を遂行して行く上で確実に理解しなければならない必要最低限の内容を、見直し・やり直し・リピートを徹底し、習熟度、理解度、処理力を向上させる。				

授業内容	回	回
	01：外貨建会計 02：外貨建会計 03：外貨建会計 04：リース取引 05：リース取引 06：リース取引 07：財務諸表 08：財務諸表 09：財務諸表 10：財務諸表 11：税金 12：税金 13：税金 14：税金 15：税効果会計	16：税効果会計 17：税効果会計 18：税効果会計 19：退職給付会計 20：退職給付会計 21：消費税会計 22：消費税会計 23：消費税法 24：消費税法 25：法人税法 26：法人税法 27：所得税法 28：所得税法 29：連結会計 30：連結会計

テキスト 参考文献	大原出版「財務会計テキスト」「経理実務Ⅲ[税務編]テキスト」
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。
準備学習の内　容	次回の授業までにテキスト、問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深める。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	ビジネス応用(経理Ⅱ)	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	渡辺将史 松永年史
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 経理実務担当者として求められる財務会計や税務会計の知識を習得する。PC会計処理について基本的な項目と操作、入力処理を身に付け、決算書作成までの流れを習得する。 【概要】 経理処理上必須となる税務会計及び中～大規模企業で必要な財務会計知識を学習する。				
到達目標	卒業後、経理事務職の即戦力として業務を遂行して行く上で確実に理解しなければならない必要最低限の内容を、見直し・やり直し・リピートを徹底し、習熟度、理解度、処理力を向上させる。				
授業内容	回 31：連結会計 32：連結会計 33：財務諸表作成問題演習 34：財務諸表作成問題演習 35：財務諸表作成問題演習 36：PC会計 37：日常取引の操作 38：勘定科目の追加登録 39：その他の不随機能（付箋機能） 40：決算手続き操作 41：決算書作成 42：翌期繰越処理 43：PC会計問題 44：課題演習 45：PC会計効果測定	回			
テキスト 参考文献	大原出版「財務会計テキスト」「経理実務Ⅲ[税務編]テキスト」				
成績基準	出席状況や取り組み姿勢、課題の提出状況が適切と判断される場合、授業内容に関して実施する模擬試験の得点率により次の通り評価する。80%以上は「優」、60%以上は「良」、40%以上は「可」、40%未満は「不可」とする。				
準備学習の内　容	次回の授業までにテキスト、問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解を深める。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	ビジネス応用(事務Ⅱ)	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	大内史彦
授業回数	45	単位	3	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 新社会人に向けて、実践的なビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。 【概要】 社会人、特に事務職に求められる状況に応じた接遇マナー、電話応対をはじめとする内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。				
到達目標	応用的なビジネスマナーと接遇能力、状況に応じた電話応対能力を習得し、新入社員としての自覚が持てる。				
授業内容	回 01：敬語復習 02：道案内 03：道案内 04：道案内 05：クレーム応対 06：クレームの原因 07：クレーム応対の心構え 08：クレーム応対のポイント 09：電話でのクレーム応対 10：商品についてのクレーム 11：職員についてのクレーム 12：契約内容についてのクレーム 13：店内でのクレーム応対 14：クレーム応対の練習① 15：クレーム応対の練習②		回 16：クレーム応対の練習③ 17：問い合わせ対応① 18：問い合わせ対応② 19：上司への報告・相談① 20：上司への報告・相談② 21：電話応対演習（道案内） 22：電話応対演習（道案内） 23：電話応対演習（クレーム） 24：電話応対演習（クレーム） 25：電話応対演習（問い合わせ） 26：電話応対演習（問い合わせ） 27：事務処理（売上集計） 28：事務処理（販売管理） 29：事務処理（顧客管理） 30：事務処理（請求書・納品書）		
テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」　等				
成績基準	取組姿勢や定期試験（効果測定）の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	学習終了範囲の練習問題、補助問題演習における理解度及び定着度の確認				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校				学科名：キャリアアップ本科	
授業科目	ビジネス応用(事務Ⅱ)	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	大内史彦 西田裕香
授業回数	45	単位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 新社会人に向けて、実践的なビジネスマナーや社会常識を習得するとともに、社会人意識の養成を行う。 【概要】 社会人、特に事務職に求められる状況に応じた接遇マナー、電話応対をはじめとする内定職種別の専門知識の習得を行い、入社に備える。				
到達目標	応用的なビジネスマナーと接遇能力、状況に応じた電話応対能力を習得し、新入社員としての自覚が持てる。				
授業内容	回 31：接遇マナーとは 32：接遇の心得 33：ご案内 34：お見送り 35：上司への来客報告 36：接遇演習 37：接遇演習 38：接遇演習 39：接遇演習 40：接遇演習 41：接遇演習 42：接遇演習 43：接遇演習 44：接遇演習 45：接遇演習	回			
テキスト 参考文献	大原出版「PCPビジネスマナーテキスト」　等				
成績基準	取組姿勢や定期試験（効果測定）の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の内　容	学習終了範囲の練習問題、補助問題演習における理解度及び定着度の確認				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	ビジネス応用(営業販売Ⅱ)	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	西田裕香 榊原大介
授業回数	45	単位	3	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 マーケットに対して様々な角度から情報収集を行い、グループ研究および発表のプロセスをグループワークで実践することで、コミュニケーション能力と情報分析能力の向上を目指す。 【概要】 マーケティングの授業で学んだ顧客視点および経営側の視点を基に、協力企業の実店舗を対象として「売上を伸ばすための改善提案」を企画し、プレゼンテーションを行う。				
到達目標	説得力のある企画提案を行うための企画書を作成し、自分たちの企画内容を分かりやすく伝える説得力のあるプレゼンテーションができるようになる。				

授業内容	回	回
	01：ガイダンス 02：業界分析 03：業界分析 04：業界分析 05：情報収集・店舗分析 06：情報収集・店舗分析 07：情報収集・店舗分析 08：店舗見学 09：店舗見学 10：店舗見学 11：課題抽出 12：課題抽出 13：課題抽出 14：仮説の作成 15：仮説の作成	16：仮説の作成 17：調査・検証 18：調査・検証 19：調査・検証 20：企画内容の作成 21：企画内容の作成 22：企画内容の作成 23：1ページ企画書作成 24：1ページ企画書作成 25：1ページ企画書作成 26：企画作成 27：企画作成 28：企画作成 29：企画作成 30：企画作成

テキスト 参考文献	特になし
成績基準	取組姿勢や定期試験（効果測定）の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。 総合評価Ａは「優」、総合評価Ｂは「良」、総合評価Ｃは「可」、総合評価Ｄは「不可」とする。
準備学習の 内　容	放課後や休日を利用して、研究対象店舗やその周辺店舗への来店・見学、同業態の情報収集と研究・分析を行い、企画書作成に活かす。

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	ビジネス応用(営業販売Ⅱ)	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	西田裕香 榊原大介
授業回数	45	単位	3	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 マーケットに対して様々な角度から情報収集を行い、グループ研究および発表のプロセスをグループワークで実践することで、コミュニケーション能力と情報分析能力の向上を目指す。 【概要】 マーケティングの授業で学んだ顧客視点および経営側の視点を基に、協力企業の実店舗を対象として「売上を伸ばすための改善提案」を企画し、プレゼンテーションを行う。				
到達目標	説得力のある企画提案を行うための企画書を作成し、自分たちの企画内容を分かりやすく伝える説得力のあるプレゼンテーションができるようになる。				
授業内容	回 31：中間発表準備 32：中間発表準備 33：中間発表準備 34：中間発表 35：中間発表 36：中間発表 37：検証、企画の見直し 38：検証、企画の見直し 39：検証、企画の見直し 40：発表会準備 41：発表会準備 42：発表会準備 43：企画発表会 44：企画発表会 45：企画発表会	回			
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	取組姿勢や定期試験（効果測定）の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。 総合評価Ａは「優」、総合評価Ｂは「良」、総合評価Ｃは「可」、総合評価Ｄは「不可」とする。				
準備学習の内　容	放課後や休日を利用して、研究対象店舗やその周辺店舗への来店・見学、同業態の情報収集と研究・分析を行い、企画書作成に活かす。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	インターンシップ	授業形態	実習	区　分	選択
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	松永年史 渡辺将史
授業回数	15	単位	1	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 職場体験を通して職業を理解し、職業に就くための課題を見つけ今後の学生生活に役立てる。 【概要】 実務家講演や職場見学・体験などの実習を通して、学習した知識や技能が実社会でどのように活かせるかを学び、自身の課題を発見し解決するきっかけを作る。				
到達目標	最低限の社会人マナーの習得と職業の理解を深めて各自の課題を見つける。				
授業内容	回 01：オリエンテーション 02：オリエンテーション 03：ビジネスマナー研修 04：ビジネスマナー研修 05：インターンシップ企業実習 06：インターンシップ企業実習 07：インターンシップ企業実習 08：インターンシップ企業実習 09：インターンシップ企業実習 10：インターンシップ企業実習 11：インターンシップ企業実習 12：インターンシップ企業実習 13：インターンシップ企業実習 14：インターンシップ企業実習 15：インターンシップ企業実習	回			
テキスト 参考文献	大原学園「就職ガイドブック」				
成績基準	学校指定の評価シートを企業へ渡し、終了後評価シートを学校へ提出。総合評価５で優、総合評価４で良、総合評価３か２で可、総合評価１で不可とする。				
準備学習の内　容	研修を受けた当日の内容はその日のうちに復習をして次の日の研修に備えること。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	企業研修Ⅰ	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	早川依里 渡辺将史
授業回数	105	単位	7	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 学内で学んだ専門知識・技術・接遇力を内定先企業等で使える知識・技術として向上させ、社員・職員としての基礎的なマインドを構築する。 【概要】 内定先企業等における実習を行う。また、定期的に個別面談を行い、実習の進捗状況確認を行うとともに業務面や精神面における助言・指導を行う。				
到達目標	内定先企業等での業務に対する関心を深め、現場において必要とされる基礎・応用知識・自己解決・判断力を習得する。				
授業内容	回 01：インターンシップの実施及び面接・総括 02：インターンシップの実施及び面接・総括 03：インターンシップの実施及び面接・総括 04：インターンシップの実施及び面接・総括 05：インターンシップの実施及び面接・総括 06：インターンシップの実施及び面接・総括 07：インターンシップの実施及び面接・総括 08：インターンシップの実施及び面接・総括 09：インターンシップの実施及び面接・総括 10：インターンシップの実施及び面接・総括 11：インターンシップの実施及び面接・総括 12：インターンシップの実施及び面接・総括 13：インターンシップの実施及び面接・総括 14：インターンシップの実施及び面接・総括 15：インターンシップの実施及び面接・総括	回 16：インターンシップの実施及び面接・総括 17：インターンシップの実施及び面接・総括 18：インターンシップの実施及び面接・総括 19：インターンシップの実施及び面接・総括 20：インターンシップの実施及び面接・総括 21：インターンシップの実施及び面接・総括 22：インターンシップの実施及び面接・総括 23：インターンシップの実施及び面接・総括 24：インターンシップの実施及び面接・総括 25：インターンシップの実施及び面接・総括 26：インターンシップの実施及び面接・総括 27：インターンシップの実施及び面接・総括 28：インターンシップの実施及び面接・総括 29：インターンシップの実施及び面接・総括 30：インターンシップの実施及び面接・総括			
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	学校指定の評価シートを企業へ渡し、終了後評価シートを学校へ提出。総合評価５で優、総合評価４で良、総合評価３か２で可、総合評価１で不可とする。				
準備学習の 内　　容	内定先企業の施設概要・業務内容等について事前に下調べをするとともに、その日の実習後に業務内容等をレポートにまとめておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	企業研修Ⅰ	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	早川依里 渡辺将史
授業回数	105	単位	7	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 学内で学んだ専門知識・技術・接遇力を内定先企業等で使える知識・技術として向上させ、社員・職員としての基礎的なマインドを構築する。 【概要】 内定先企業等における実習を行う。また、定期的に個別面談を行い、実習の進捗状況確認を行うとともに業務面や精神面における助言・指導を行う。				
到達目標	内定先企業等での業務に対する関心を深め、現場において必要とされる基礎・応用知識・自己解決・判断力を習得する。				
授業内容	回 31：インターンシップの実施及び面接・総括 32：インターンシップの実施及び面接・総括 33：インターンシップの実施及び面接・総括 34：インターンシップの実施及び面接・総括 35：インターンシップの実施及び面接・総括 36：インターンシップの実施及び面接・総括 37：インターンシップの実施及び面接・総括 38：インターンシップの実施及び面接・総括 39：インターンシップの実施及び面接・総括 40：インターンシップの実施及び面接・総括 41：インターンシップの実施及び面接・総括 42：インターンシップの実施及び面接・総括 43：インターンシップの実施及び面接・総括 44：インターンシップの実施及び面接・総括 45：インターンシップの実施及び面接・総括		回 46：インターンシップの実施及び面接・総括 47：インターンシップの実施及び面接・総括 48：インターンシップの実施及び面接・総括 49：インターンシップの実施及び面接・総括 50：インターンシップの実施及び面接・総括 51：インターンシップの実施及び面接・総括 52：インターンシップの実施及び面接・総括 53：インターンシップの実施及び面接・総括 54：インターンシップの実施及び面接・総括 55：インターンシップの実施及び面接・総括 56：インターンシップの実施及び面接・総括 57：インターンシップの実施及び面接・総括 58：インターンシップの実施及び面接・総括 59：インターンシップの実施及び面接・総括 60：インターンシップの実施及び面接・総括		
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	学校指定の評価シートを企業へ渡し、終了後評価シートを学校へ提出。総合評価５で優、総合評価４で良、総合評価３か２で可、総合評価１で不可とする。				
準備学習の内　容	内定先企業の施設概要・業務内容等について事前に下調べをするとともに、その日の実習後に業務内容等をレポートにまとめておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	企業研修Ⅰ	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	早川依里 渡辺将史
授業回数	105	単位	7	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 学内で学んだ専門知識・技術・接遇力を内定先企業等で使える知識・技術として向上させ、社員・職員としての基礎的なマインドを構築する。 【概要】 内定先企業等における実習を行う。また、定期的に個別面談を行い、実習の進捗状況確認を行うとともに業務面や精神面における助言・指導を行う。				
到達目標	内定先企業等での業務に対する関心を深め、現場において必要とされる基礎・応用知識・自己解決・判断力を習得する。				
授業内容	回 61：インターンシップの実施及び面接・総括 62：インターンシップの実施及び面接・総括 63：インターンシップの実施及び面接・総括 64：インターンシップの実施及び面接・総括 65：インターンシップの実施及び面接・総括 66：インターンシップの実施及び面接・総括 67：インターンシップの実施及び面接・総括 68：インターンシップの実施及び面接・総括 69：インターンシップの実施及び面接・総括 70：インターンシップの実施及び面接・総括 71：インターンシップの実施及び面接・総括 72：インターンシップの実施及び面接・総括 73：インターンシップの実施及び面接・総括 74：インターンシップの実施及び面接・総括 75：インターンシップの実施及び面接・総括		回 76：インターンシップの実施及び面接・総括 77：インターンシップの実施及び面接・総括 78：インターンシップの実施及び面接・総括 79：インターンシップの実施及び面接・総括 80：インターンシップの実施及び面接・総括 81：インターンシップの実施及び面接・総括 82：インターンシップの実施及び面接・総括 83：インターンシップの実施及び面接・総括 84：インターンシップの実施及び面接・総括 85：インターンシップの実施及び面接・総括 86：インターンシップの実施及び面接・総括 87：インターンシップの実施及び面接・総括 88：インターンシップの実施及び面接・総括 89：インターンシップの実施及び面接・総括 90：インターンシップの実施及び面接・総括		
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	学校指定の評価シートを企業へ渡し、終了後評価シートを学校へ提出。総合評価５で優、総合評価４で良、総合評価３か２で可、総合評価１で不可とする。				
準備学習の内　容	内定先企業の施設概要・業務内容等について事前に下調べをするとともに、その日の実習後に業務内容等をレポートにまとめておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	企業研修Ⅰ	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	早川依里 渡辺将史
授業回数	105	単位	7	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 学内で学んだ専門知識・技術・接遇力を内定先企業等で使える知識・技術として向上させ、社員・職員としての基礎的なマインドを構築する。 【概要】 内定先企業等における実習を行う。また、定期的に個別面談を行い、実習の進捗状況確認を行うとともに業務面や精神面における助言・指導を行う。				
到達目標	内定先企業等での業務に対する関心を深め、現場において必要とされる基礎・応用知識・自己解決・判断力を習得する。				
授業内容	回 91：インターンシップの実施及び面接・総括 92：インターンシップの実施及び面接・総括 93：インターンシップの実施及び面接・総括 94：インターンシップの実施及び面接・総括 95：インターンシップの実施及び面接・総括 96：インターンシップの実施及び面接・総括 97：インターンシップの実施及び面接・総括 98：インターンシップの実施及び面接・総括 99：インターンシップの実施及び面接・総括 100：インターンシップの実施及び面接・総括 101：インターンシップの実施及び面接・総括 102：インターンシップの実施及び面接・総括 103：インターンシップの実施及び面接・総括 104：インターンシップの実施及び面接・総括 105：インターンシップの実施及び面接・総括		回		
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	学校指定の評価シートを企業へ渡し、終了後評価シートを学校へ提出。総合評価５で優、総合評価４で良、総合評価３か２で可、総合評価１で不可とする。				
準備学習の内　容	内定先企業の施設概要・業務内容等について事前に下調べをするとともに、その日の実習後に業務内容等をレポートにまとめておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	企業研修Ⅱ	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	早川依里 渡辺将史
授業回数	45	単位	3	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 学内で学んだ専門知識・技術・接遇力を内定先企業等で使える知識・技術として向上させ、社員・職員としての基礎的なマインドを構築する。 【概要】 内定先企業等における実習を行う。また、定期的に個別面談を行い、実習の進捗状況確認を行うとともに業務面や精神面における助言・指導を行う。				
到達目標	内定先企業等での業務に対する関心を深め、現場において必要とされる基礎・応用知識・自己解決・判断力を習得する。				
授業内容	回 01：インターンシップの実施及び面接・総括 02：インターンシップの実施及び面接・総括 03：インターンシップの実施及び面接・総括 04：インターンシップの実施及び面接・総括 05：インターンシップの実施及び面接・総括 06：インターンシップの実施及び面接・総括 07：インターンシップの実施及び面接・総括 08：インターンシップの実施及び面接・総括 09：インターンシップの実施及び面接・総括 10：インターンシップの実施及び面接・総括 11：インターンシップの実施及び面接・総括 12：インターンシップの実施及び面接・総括 13：インターンシップの実施及び面接・総括 14：インターンシップの実施及び面接・総括 15：インターンシップの実施及び面接・総括	回 16：インターンシップの実施及び面接・総括 17：インターンシップの実施及び面接・総括 18：インターンシップの実施及び面接・総括 19：インターンシップの実施及び面接・総括 20：インターンシップの実施及び面接・総括 21：インターンシップの実施及び面接・総括 22：インターンシップの実施及び面接・総括 23：インターンシップの実施及び面接・総括 24：インターンシップの実施及び面接・総括 25：インターンシップの実施及び面接・総括 26：インターンシップの実施及び面接・総括 27：インターンシップの実施及び面接・総括 28：インターンシップの実施及び面接・総括 29：インターンシップの実施及び面接・総括 30：インターンシップの実施及び面接・総括			
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	学校指定の評価シートを企業へ渡し、終了後評価シートを学校へ提出。総合評価５で優、総合評価４で良、総合評価３か２で可、総合評価１で不可とする。				
準備学習の内　容	内定先企業の施設概要・業務内容等について事前に下調べをするとともに、その日の実習後に業務内容等をレポートにまとめておくこと。				

2026年度 Syllabus

大原簿記情報医療専門学校浜松校					学科名：キャリアアップ本科
授業科目	企業研修Ⅱ	授業形態	実習	区　分	必修選択
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	早川依里 渡辺将史
授業回数	45	単位	3	実務家	実務経験あり
授業目的 概　　要	【目的】 学内で学んだ専門知識・技術・接遇力を内定先企業等で使える知識・技術として向上させ、社員・職員としての基礎的なマインドを構築する。 【概要】 内定先企業等における実習を行う。また、定期的に個別面談を行い、実習の進捗状況確認を行うとともに業務面や精神面における助言・指導を行う。				
到達目標	内定先企業等での業務に対する関心を深め、現場において必要とされる基礎・応用知識・自己解決・判断力を習得する。				
授業内容	回 31：インターンシップの実施及び面接・総括 32：インターンシップの実施及び面接・総括 33：インターンシップの実施及び面接・総括 34：インターンシップの実施及び面接・総括 35：インターンシップの実施及び面接・総括 36：インターンシップの実施及び面接・総括 37：インターンシップの実施及び面接・総括 38：インターンシップの実施及び面接・総括 39：インターンシップの実施及び面接・総括 40：インターンシップの実施及び面接・総括 41：インターンシップの実施及び面接・総括 42：インターンシップの実施及び面接・総括 43：インターンシップの実施及び面接・総括 44：インターンシップの実施及び面接・総括 45：インターンシップの実施及び面接・総括	回			
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	学校指定の評価シートを企業へ渡し、終了後評価シートを学校へ提出。総合評価５で優、総合評価４で良、総合評価３か２で可、総合評価１で不可とする。				
準備学習の内　容	内定先企業の施設概要・業務内容等について事前に下調べをするとともに、その日の実習後に業務内容等をレポートにまとめておくこと。				